

## 令和4年度 生活習慣関連疾患の動向に関する調査

令和6年6月  
健康保険組合連合会  
政策部 調査分析グループ

本調査は、1,310 組合提供の診療報酬明細書（電子レセプト）データをもとに、令和4年度の生活習慣関連10疾患の受診状況及び医療費の動向をとりまとめたものです。

### 【調査結果のポイント】

1. 内分泌・栄養・代謝及び循環器系疾患の医療費の概況  
(医療費及び構成割合)
  - 疾病医療費総額（3兆9,254億円）に占める医療費の割合をみると、内分泌・栄養・代謝が9.2%（3,629億円）、循環器が8.9%（3,498億円）となっている。

(対前年度比伸び率)

  - 内分泌・栄養・代謝は3.2%の増加。入院：▲4.0%減少、入院外：3.5%増加。
  - 循環器は2.1%の増加。入院：3.2%増加、入院外：1.3%増加した。
2. 生活習慣関連10疾患の受診状況  
(加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）)
  - 医科入院では、高血圧症が0.54人と最も多く、次いで、糖尿病：0.44人、高脂血症：0.31人。
  - 医科入院外では、高脂血症：58.2人と最も多く、次いで、高血圧症が58.1人、糖尿病：41.8人。
3. 生活習慣関連10疾患の医療費の動向  
(医療費及び構成割合)
  - 医科入院（8,904億円）に占める10疾患医療費（514億円）の割合は5.8%。脳血管障害が2.3%（202億円）と最も高く、次いで、虚血性心疾患：1.6%（146億円）、糖尿病：0.7%（60億円）。
  - 医科入院外（3兆350億円）に占める10疾患医療費（4,082億円）の割合は13.5%。糖尿病が4.8%（1,461億円）と最も高く、次いで、高血圧症：3.2%（961億円）、高脂血症：2.4%（716億円）。

(加入者1人当たり医療費)

  - 医科入院では、脳血管障害が747円と最も高く、次いで、虚血性心疾患：539円、糖尿病：221円。
  - 医科入院外では、糖尿病が5,393円と最も高く、次いで、高血圧症：3,546円、高脂血症：2,643円。

## 目次

本調査における留意点、用語の定義	3
1. 疾病 19 分類「内分泌・栄養・代謝」及び「循環器」系疾患	
(1) 医療費の概況	6
(2) 入院・入院外別にみた医療費の動向	
1) 医科入院	8
2) 医科入院外	10
2. 生活習慣関連 10 疾患の受診状況	
(1) 加入者 1,000 人当たり受診者数（年度平均）	
1) 医科入院	12
2) 医科入院外	13
(2) 10 疾患でみた推計受診者数（年度平均）の構成割合	
1) 医科入院	14
2) 医科入院外	14
(3) 年齢階層別にみた推計受診者数（年度平均）及び構成割合	
1) 医科入院	15
2) 医科入院外	18
3. 生活習慣関連 10 疾患の医療費の動向	
(1) 医療費の概況	
1) 医科入院	22
2) 医科入院外	25
(2) 10 疾患でみた医療費の構成割合	
1) 医科入院	28
2) 医科入院外	28
(3) 推計受診者 1 人当たり医療費	
1) 医科入院	29
2) 医科入院外	30
(4) 年齢階層別にみた医療費及び構成割合	
1) 医科入院	31
2) 医科入院外	34
(5) 推計平均在院日数及び推計 1 入院当たり医療費、推計新規入院件数	
1) 推計平均在院日数	37
2) 推計 1 入院当たり医療費	37
3) 加入者 1,000 人当たり推計新規入院件数	38
【参考】入院医療費の 3 要素分解について	39

## 本調査における留意点、用語の定義

### 1. 生活習慣関連疾患について

調査対象とした生活習慣関連疾患は、疾病 19 分類上の「内分泌・栄養・代謝系疾患」及び「循環器系疾患」とし、個々の疾患については、厚生労働省「標準的な健診・保健指導に関するプログラム（確定版）」【平成 19 年 4 月】掲載の以下 10 疾患を対象としている。

対象疾患名（診療行為）	ICD-10 等
①糖尿病	E11～E14
②脳血管障害	I61、I639、I64
③虚血性心疾患	I209、I259、I219
④動脈閉塞	E145
⑤高血圧症	I10
⑥高尿酸血症	E790
⑦高脂血症	E785、E780、E781
⑧肝機能障害	K760、K701
⑨高血圧性腎臓障害	I129、N26
⑩人工透析	診療行為区分 J038

出典：厚生労働省「標準的な健診・保健指導に関するプログラム（確定版）」p.146（平成 19 年 4 月）

### 2. 調査対象 1,310 組合の医療費データ及び加入者数

1,310 組合の診療報酬明細書（レセプト）データを集計対象とした。また、「2）対前年度比伸び率」の算出にあたっては、1,310 組合のうち、データ提供のあった令和 4 年度と 3 年度同一の 1,290 組合を集計対象としている。

#### 1) 集計対象とした診療報酬明細書（レセプト）データ

1,310 組合	レセプト件数（件）	医療費総額（円）
<b>【計】</b>	327,320,308	4,674,516,019,880
医科	170,207,229	3,137,256,111,560
歯科	47,617,968	568,800,779,020
調剤	109,495,111	968,459,129,300

1,310 組合	加入者数（人）
本人・家族 <b>【計】</b>	27,096,042
本人	15,961,791
家族	11,134,322

2) 対前年度比伸び率：1,290 組合（1,310 組合のうち令和 4 年度と 3 年度同一組合）

1,290 組合	レセプト件数（件）		医療費総額（円）	
	令和 4 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 3 年度
<b>【計】</b>	324,288,876	302,455,558	4,631,158,343,890	4,288,751,074,060
医科	168,627,674	156,880,604	3,108,053,486,250	2,834,933,512,880
調剤	108,491,275	99,328,944	959,591,179,510	901,910,754,540
歯科	47,169,927	46,246,010	563,513,678,130	551,906,806,640

1,290 組合	加入者数（人）	
	令和 4 年度	令和 3 年度
本人・家族 <b>【計】</b>	26,843,021	27,047,395
本人	15,818,109	15,749,413
家族	11,024,983	11,298,096

3. 疾病別医療費の取り扱いについて

(1) 疾病別医療費：

1 枚の診療報酬明細書（レセプト）に記載された 1 ないし複数の傷病名に対して、各傷病名に結び付く診療行為や薬剤の点数を分配し、医療費を疾病ごとに振り分けた結果に基づき算出する手法を用いている。

公的 disease 統計においてはレセプトに記載された 1 ないし複数の傷病名のうち、主傷病となる代表疾病に基づき 1 レセプト 1 傷病名による医療費で集計しているが、これとは異なる点に留意されたい。また、入院外の医療費については、上記同様の手法により医科レセプトと紐づく調剤レセプトから傷病名ごとに調剤医療費を分配し合算しているため、調剤医療費を含んだ金額となっている。

(2) 疾病別レセプト件数：

1 枚のレセプトに記載された 1 ないし複数の傷病名ごとに計数している。たとえば、レセプト上に 3 つの傷病名—A 病名、B 病名、C 病名—が記載されている場合、レセプト件数は、A 病名：1 件、B 病名：1 件、C 病名：1 件として計数し、疾病・疾病分類ごとに集計している。このため上記の医療費の取り扱いと同様、レセプトに複数の傷病名が記載された場合の取り扱いが公的 disease 統計とは異なる点に留意されたい。

4. 用語の定義

① 加入者 1 人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を 12 で除したもの）で除したもの。

② 受診率（1,000人当たりレセプト件数）

当該年度のレセプト件数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除し1,000倍したもの。

③ レセプト1件当たり日数

当該年度の診療実日数をレセプト件数で除したもの。

④ 1日当たり医療費

当該年度の医療費を診療実日数で除したもの。

⑤ 加入者1人当たり医療費の3要素分解

加入者1人当たり医療費は、受診率、1件当たり日数、1日当たり医療費の積に分解することができる。

（※加入者1人当たり医療費＝受診率×1件当たり日数×1日当たり医療費）

⑥ 推計受診者数（年度平均）

当該年度の各月の受診者数の和を12で除したもの。これは、組合提供の月別の医療費データは集計値であり、受診者数については当該月に報告のあった受診者数に他の月と同一の受診者が計上される場合があることから、当該年度の集計にあたっては、各月の受診者数を累計した値を12で除した推計値を用いている。

⑦ 加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）

当該年度の平均受診者数を、当該年度の平均加入者数（各月末の加入者数の和を12で除したもの）で除し1,000倍したもの。

⑧ 推計受診者1人当たり医療費

当該年度の医療費を、当該年度の平均受診者数で除したもの。

なお、上記①の加入者1人当たり医療費は、加入者1人当たり受診者数、受診者1人当たり医療費に分解することができる。

（※加入者1人当たり医療費＝加入者1人当たり受診者数×受診者1人当たり医療費）

## 5. その他

○ 動脈閉塞は、糖尿病に由来する動脈閉塞(糖尿病性壊疽)(※)を集計の対象としており、糖尿病に由来しない動脈閉塞は集計に含めていない。

(※)ICD-10コードE145に該当する傷病の記録があるもの

○ 人工透析は、糖尿病または高血圧に由来する人工透析(※)を集計の対象としている。

(※)医科診療行為コード「J038：人工腎臓」が記録されたレセプトのうち、ICD-10コードE11-14,I10,I129及びN26のいずれかに該当する傷病の記録があるもの

1. 疾病 19 分類「内分泌・栄養・代謝」及び「循環器」系疾患

(1) 医療費の概況

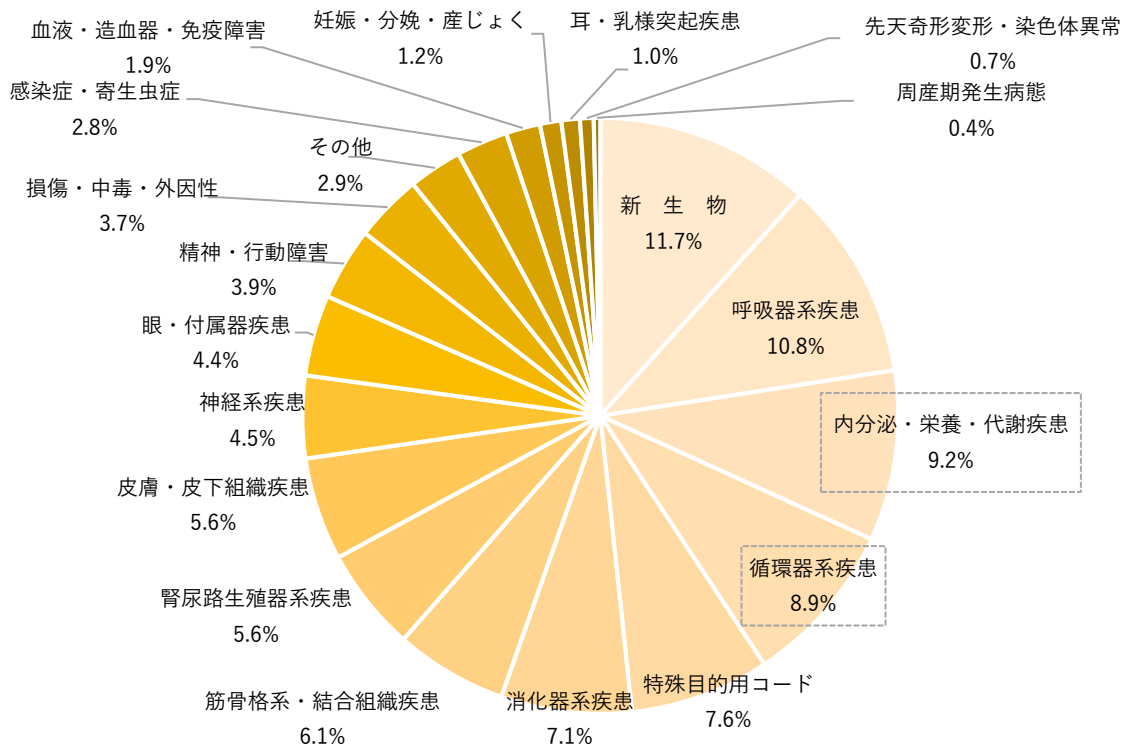
① 医療費及び構成割合

- 疾病分類医療費計（3 兆 9,254 億円）に占める医療費割合をみると、内分泌・栄養・代謝が 9.2%（3,629 億円）、循環器が 8.9%（3,498 億円）となっている。
- 内分泌・栄養・代謝（9.2%）の内訳は、医科入院：0.6%、医科入院外：8.7%。
- 循環器（8.9%）の内訳は、医科入院：3.7%、医科入院外：5.2%。

令和 4 年度 医療費及び構成割合

1,310 組合	医療費（円）	構成割合（%）
疾病分類【計】	3,925,400,929,730	(100)
内分泌・栄養・代謝系疾患【計】	362,896,241,440	9.2
(再掲) 医科入院	22,035,566,980	0.6
医科入院外	340,860,674,460	8.7
循環器系疾患【計】	349,791,521,840	8.9
(再掲) 医科入院	146,641,386,760	3.7
医科入院外	203,150,135,080	5.2

令和 4 年度 疾病 19 分類別 医療費構成割合【医科計】



注) 円グラフ及び表中の「その他」は、「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」、「健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」、「不詳」である（以下、同じ）。

② 対前年度比伸び率

- 内分泌・栄養・代謝は 3.2%の増加で、入院：▲4.0%減少、入院外：3.5%増加。
- 循環器は 2.1%の増加で、入院：3.2%増加、入院外が：1.3%増加。

令和4年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,290組合ベース）

	伸び率 (%)
疾病分類【計】	8.0
内分泌・栄養・代謝系疾患【計】	3.2
医科入院	▲4.0
医科入院外	3.5
循環器系疾患【計】	2.1
医科入院	3.2
医科入院外	1.3

参考：疾病19分類別医療費構成割合【医科計】（前年度調査との比較）

疾病分類名	令和4年度 (1,310組合)	(参考)3年度調査 (1,308組合)
新生物	11.7%	12.1%
呼吸器系疾患	10.8%	10.3%
内分泌・栄養・代謝疾患	9.2%	9.7%
循環器系疾患	8.9%	9.5%
新型コロナ関連等	7.6%	3.9%
消化器系疾患	7.1%	7.5%
筋骨格系・結合組織疾患	6.1%	6.6%
腎尿路生殖器系疾患	5.6%	5.0%
皮膚・皮下組織疾患	5.6%	6.0%
神経系疾患	4.5%	4.6%
眼・付属器疾患	4.4%	4.5%
精神・行動障害	3.9%	4.3%
損傷・中毒・外因性	3.7%	3.6%
その他	2.9%	3.8%
感染症・寄生虫症	2.8%	3.1%
血液・造血器・免疫障害	1.9%	1.9%
妊娠・分娩・産じょく	1.2%	1.3%
耳・乳様突起疾患	1.0%	1.1%
先天奇形変形・染色体異常	0.7%	0.8%
周産期発生病態	0.4%	0.4%

(2) 入院・入院外別にみた医療費の動向

1) 医科入院

① 加入者1人当たり医療費

- 内分泌・栄養・代謝は813円、循環器は、新生物(6,643円)に次いで高く、5,412円となっている。





② 対前年度比伸び率

- 内分泌・栄養・代謝は 0.3%の増加。要因として、1件当たり日数が▲1.2%減少した一方、受診率が 1.1%、1日当たり医療費が 0.4%、それぞれ増加した。
- 循環器は 4.0%の増加。要因として、1件当たり日数が▲1.5%減少した一方、1日当たり医療費が 4.6%、受診率が 0.9%、それぞれ増加したことによる。

令和4年度【医科入院】対前年度比伸び率（%）（※両年度同一の1,290組合ベース）

疾病分類名	加入者1人当たり <sup>1</sup> 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	▲5.6	▲2.4	▲0.6	▲2.7
新生物	4.6	1.8	▲1.9	4.8
血液・造血器・免疫障害	▲3.2	▲0.6	▲0.8	▲1.9
内分泌・栄養・代謝疾患	0.3	1.1	▲1.2	0.4
精神・行動障害	▲3.5	0.3	▲0.7	▲3.0
神経系疾患	▲0.4	0.9	▲0.8	▲0.4
眼・付属器疾患	6.7	5.3	▲2.1	3.4
耳・乳様突起疾患	▲3.9	▲1.7	3.4	▲5.6
循環器系疾患	4.0	0.9	▲1.5	4.6
呼吸器系疾患	▲1.5	2.5	▲1.1	▲2.8
消化器系疾患	1.8	▲0.1	▲0.9	2.9
皮膚・皮下組織疾患	▲1.1	0.2	▲0.1	▲1.1
筋骨格系・結合組織疾患	6.1	1.5	▲0.3	5.0
腎尿路生殖器系疾患	3.4	0.9	▲1.5	4.1
妊娠・分娩・産じょく	▲1.9	▲3.3	▲0.8	2.3
周産期発生病態	▲13.2	▲12.9	2.5	▲2.9
先天奇形変形・染色体異常	▲3.8	▲1.2	▲1.7	▲0.9
他に分類されないもの	▲2.7	1.7	▲0.8	▲3.6
損傷・中毒・外因性	14.8	14.4	▲3.8	4.3
新型コロナ関連等	35.0	48.2	1.5	▲10.3

<sup>1</sup> ①加入者1人当たり医療費 = 受診率 × 1件当たり日数 × 1日当たり医療費

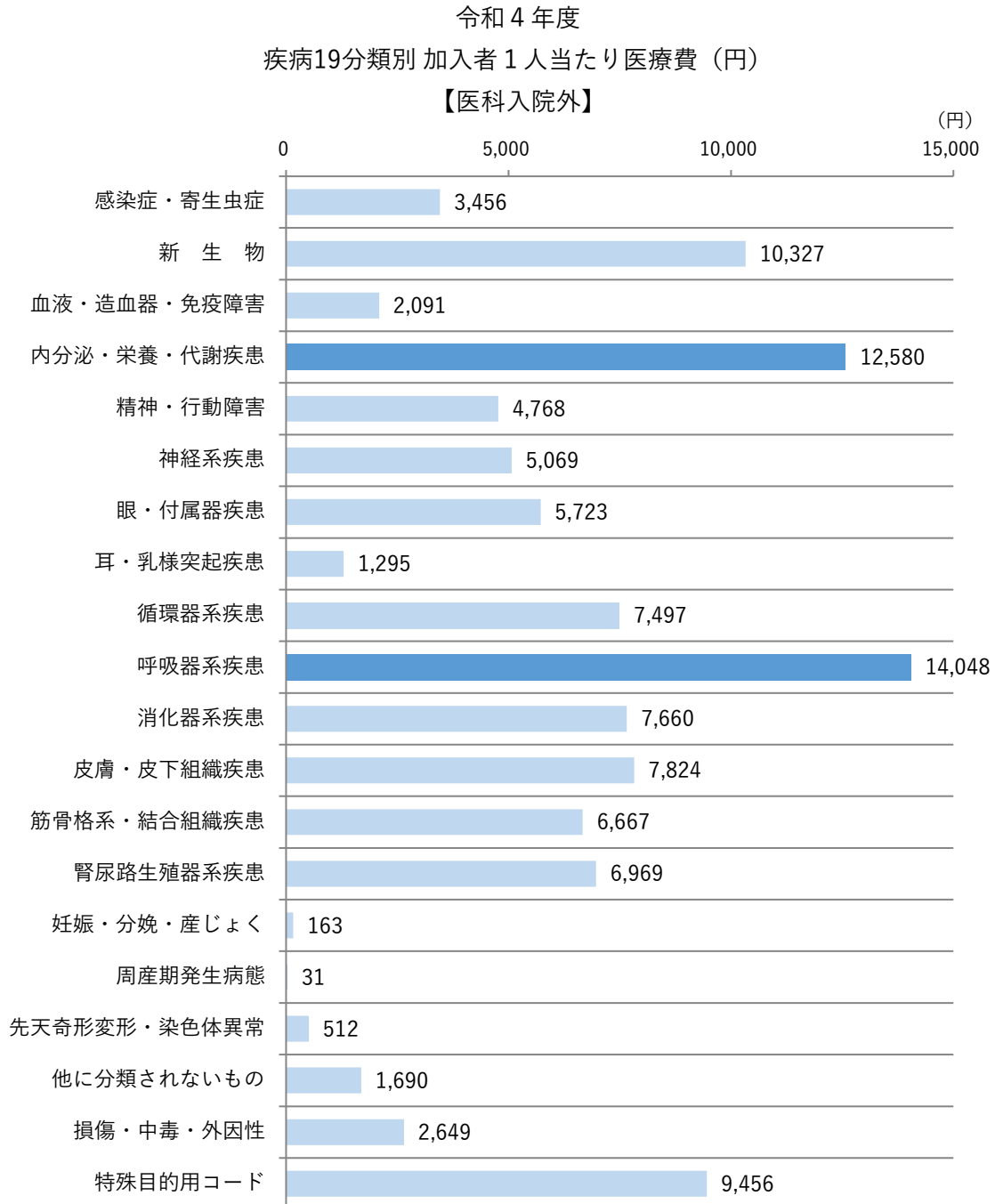
②加入者1人当たり医療費の伸び率

≒ 受診率の伸び率 + 1件当たり日数の伸び率 + 1日当たり医療費の伸び率 (以降、同じ)

## 2) 医科入院外

### ① 加入者 1 人当たり医療費

- 内分泌・栄養・代謝は、呼吸器系（1万4,018円）に次いで高く1万2,580円、循環器は7,497円となっている。



② 対前年度比伸び率

- 内分泌・栄養・代謝は 4.2%の増加。要因として、1 日当たり医療費が▲1.4%減少した一方、▽受診率が 4.5%、▽1 件当たり日数が 0.7%—増加した。
- 循環器は 2.1%の増加。要因として、1 日当たり医療費が▲1.1%減少した一方、受診率が 3.4%増加したことによる。

令和 4 年度【医科入院外】対前年度比伸び率（%）（※両年度同一の 1,290 組合ベース）

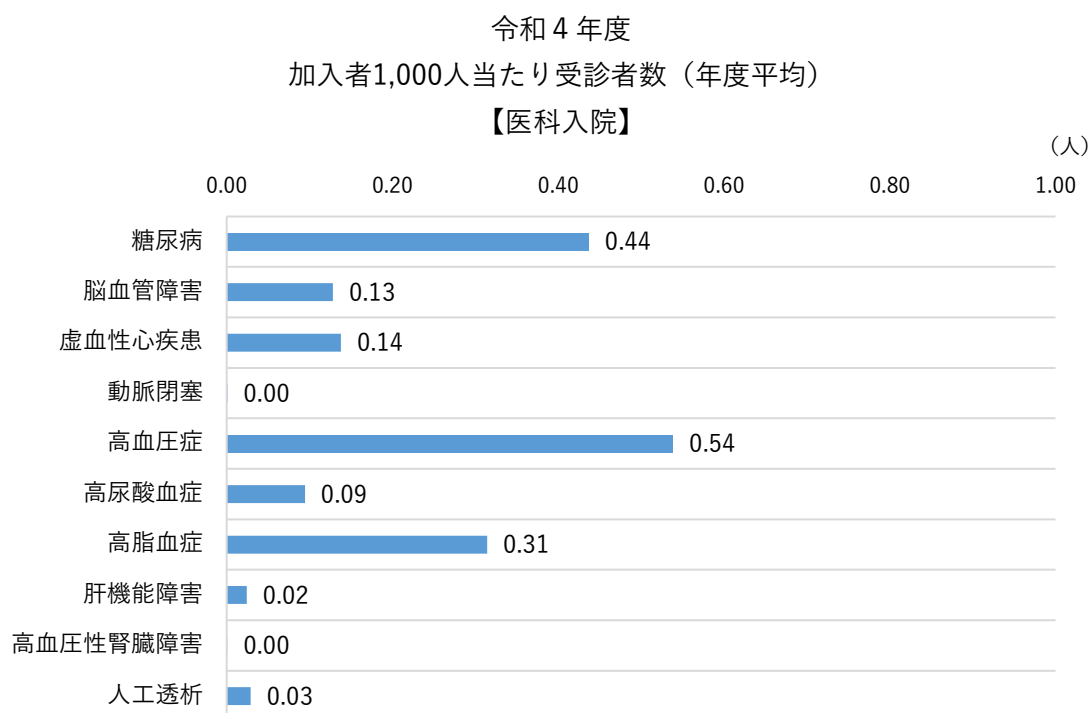
疾病分類名	加入者 1 人当たり 医療費	受診率	1 件当たり 日数	1 日当たり 医療費
感染症・寄生虫症	0.4	4.0	▲1.2	▲2.3
新生物	7.8	5.6	0.0	2.5
血液・造血器・免疫障害	10.1	6.3	0.0	3.7
内分泌・栄養・代謝疾患	4.2	4.5	0.7	▲1.4
精神・行動障害	0.7	4.0	▲0.7	▲2.4
神経系疾患	10.3	5.6	▲1.3	5.4
眼・付属器疾患	7.4	10.4	0.0	▲3.2
耳・乳様突起疾患	0.1	6.9	▲1.3	▲5.1
循環器系疾患	2.1	3.4	0.0	▲1.1
呼吸器系疾患	17.7	25.4	▲1.3	▲5.4
消化器系疾患	4.0	4.5	▲0.7	0.2
皮膚・皮下組織疾患	1.9	2.6	0.0	▲0.7
筋骨格系・結合組織疾患	0.7	3.1	▲1.0	▲1.4
腎尿路生殖器系疾患	26.8	7.6	1.2	16.4
妊娠・分娩・産じょく	1.2	0.8	5.3	▲5.1
周産期発生病態	▲6.1	▲0.6	▲0.6	▲5.6
先天奇形変形・染色体異常	16.4	2.0	▲0.7	14.8
他に分類されないもの	10.4	10.8	▲0.6	▲0.0
損傷・中毒・外因性	7.6	7.6	▲1.5	1.3
新型コロナ関連等	132.0	▲3.3	▲1.7	143.1

## 2. 生活習慣関連 10 疾患の受診状況

(1) 加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

### 1) 医科入院

- 高血圧症が 0.54 人と最も多く、次いで、糖尿病：0.44 人、高脂血症：0.31 人となっている。

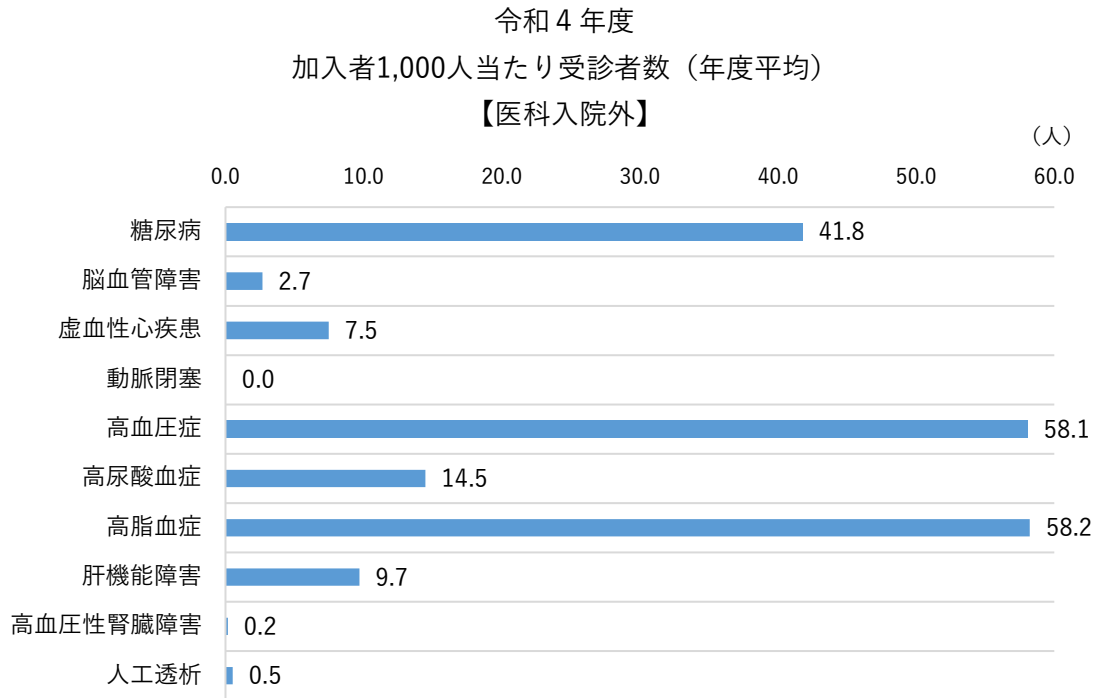


### 推計受診者数及び加入者 1,000 人当たり受診者数 (年度平均)

1,310 組合	推計受診者数 (人) (年度平均)	加入者 1,000 人当たり 受診者数 (人)
糖尿病	11,839	0.44
脳血管障害	3,478	0.13
虚血性心疾患	3,737	0.14
動脈閉塞	25	0.00
高血圧症	14,596	0.54
高尿酸血症	2,557	0.09
高脂血症	8,512	0.31
肝機能障害	654	0.02
高血圧性腎臓障害	24	0.00
人工透析	788	0.03
合計	46,210	1.71

2) 医科入院外

- 高脂血症：58.2人と最も多く、次いで、高血圧症が58.1人、糖尿病：41.8人となっている。



推計受診者数及び加入者1,000人当たり受診者数（年度平均）

1,310 組合	推計受診者数（人） （年度平均）	加入者1,000人当たり 受診者数（人）
糖尿病	1,131,926	41.8
脳血管障害	72,459	2.7
虚血性心疾患	202,742	7.5
動脈閉塞	780	0.0
高血圧症	1,573,418	58.1
高尿酸血症	392,218	14.5
高脂血症	1,577,697	58.2
肝機能障害	262,557	9.7
高血圧性腎臓障害	4,493	0.2
人工透析	14,367	0.5
合計	5,232,658	193.1

(2) 10 疾患でみた推計受診者数 (年度平均) の構成割合

1) 医科入院

- 10 疾患別に推計受診者数 (年度平均) の構成割合をみると、高血圧症：31.6%、糖尿病：25.6%、高脂血症：18.4%となっている。また、入院外に比べ、虚血性心疾患：8.1%、脳血管障害：7.5%の割合が高い。

生活習慣関連 10 疾患 推計受診者数 (年度平均) の構成割合 (%)

【医科入院】

受診者数 (年度平均) 4 万 6,210 人 (100%)



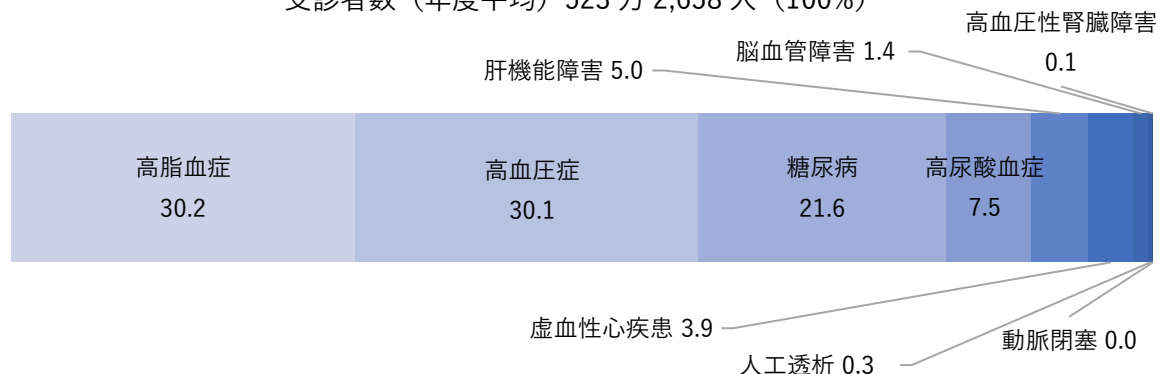
2) 医科入院外

- 10 疾患別に推計受診者数 (年度平均) の構成割合をみると、高脂血症：30.2%、高血圧症：30.1%、糖尿病：21.6%となっている。また、入院に比べ、高尿酸血症：7.5%、肝機能障害：5.0%の割合が高い。

生活習慣関連 10 疾患 推計受診者数 (年度平均) の構成割合 (%)

【医科入院外】

受診者数 (年度平均) 523 万 2,658 人 (100%)



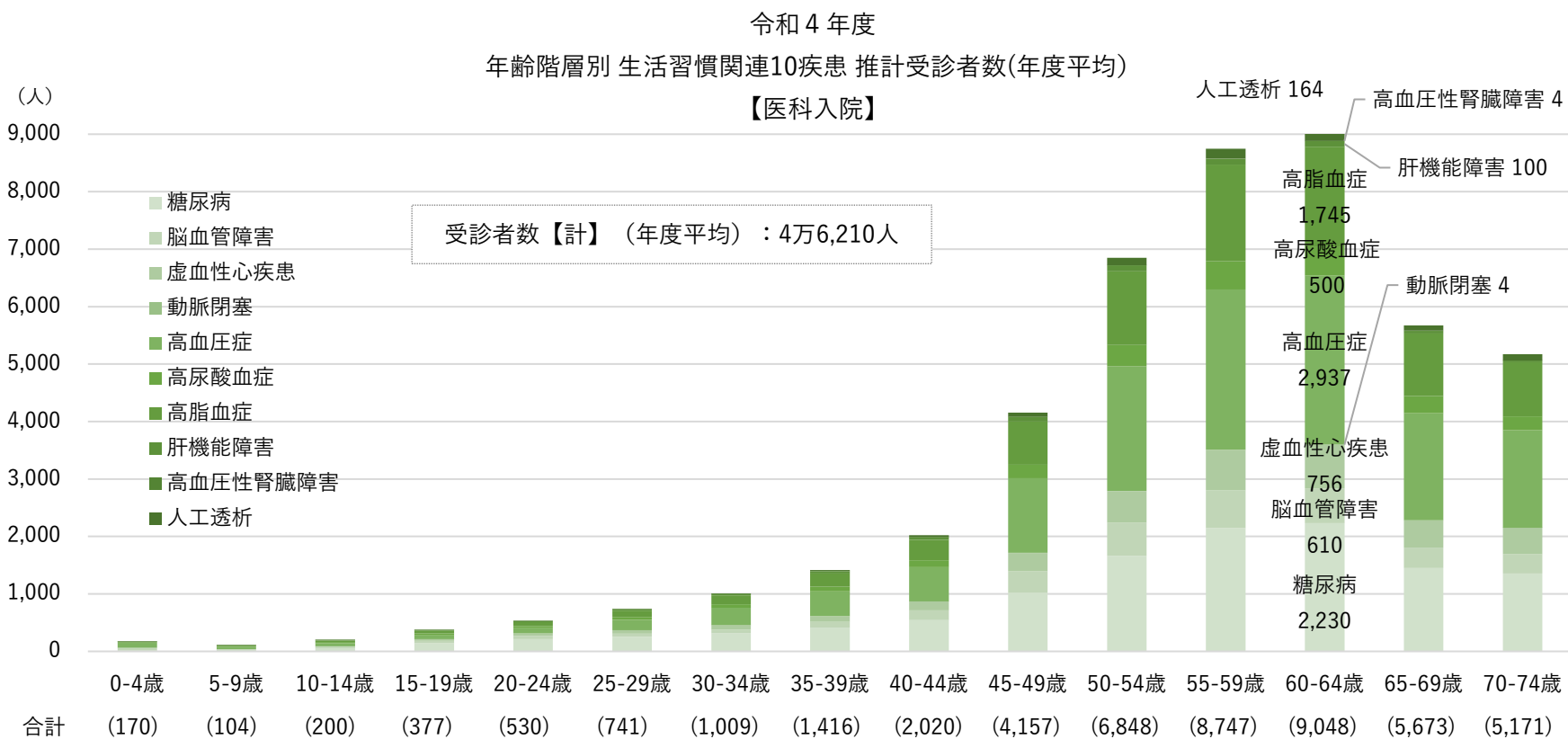
(3) 年齢階層別にみた推計受診者数（年度平均）及び構成割合

1) 医科入院

①推計受診者数（年度平均）

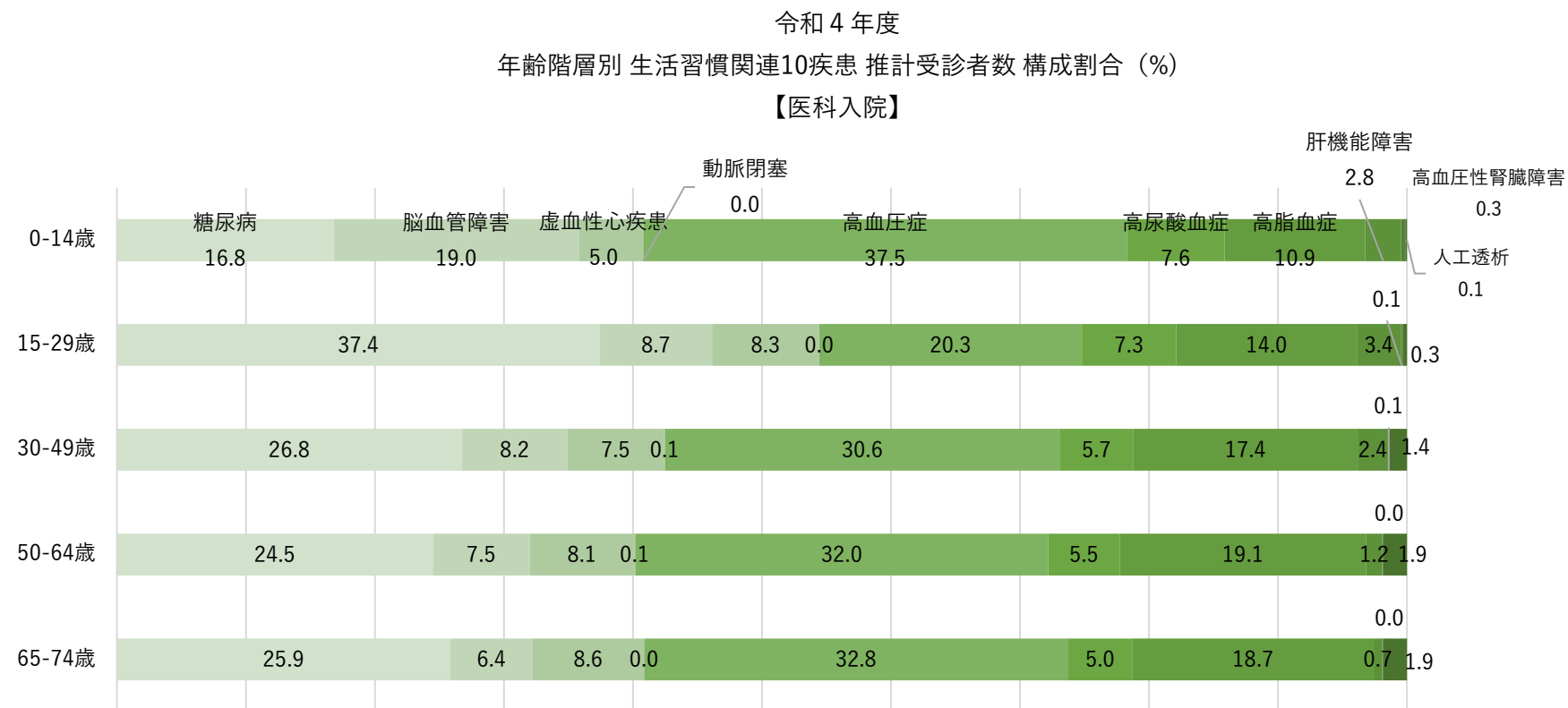
○ 10 疾患の推計受診者総数（積み上げ）では 60-64 歳（9,048 人）が最も多く、次いで、55-59 歳（8,747 人）、50-54 歳（6,818 人）。

○ 総数が最も多い 60-64 歳の疾患をみると、高血圧症（2,937 人）が最も多く、次いで、糖尿病（2,230 人）、高脂血症（1,745 人）。



③ 構成割合

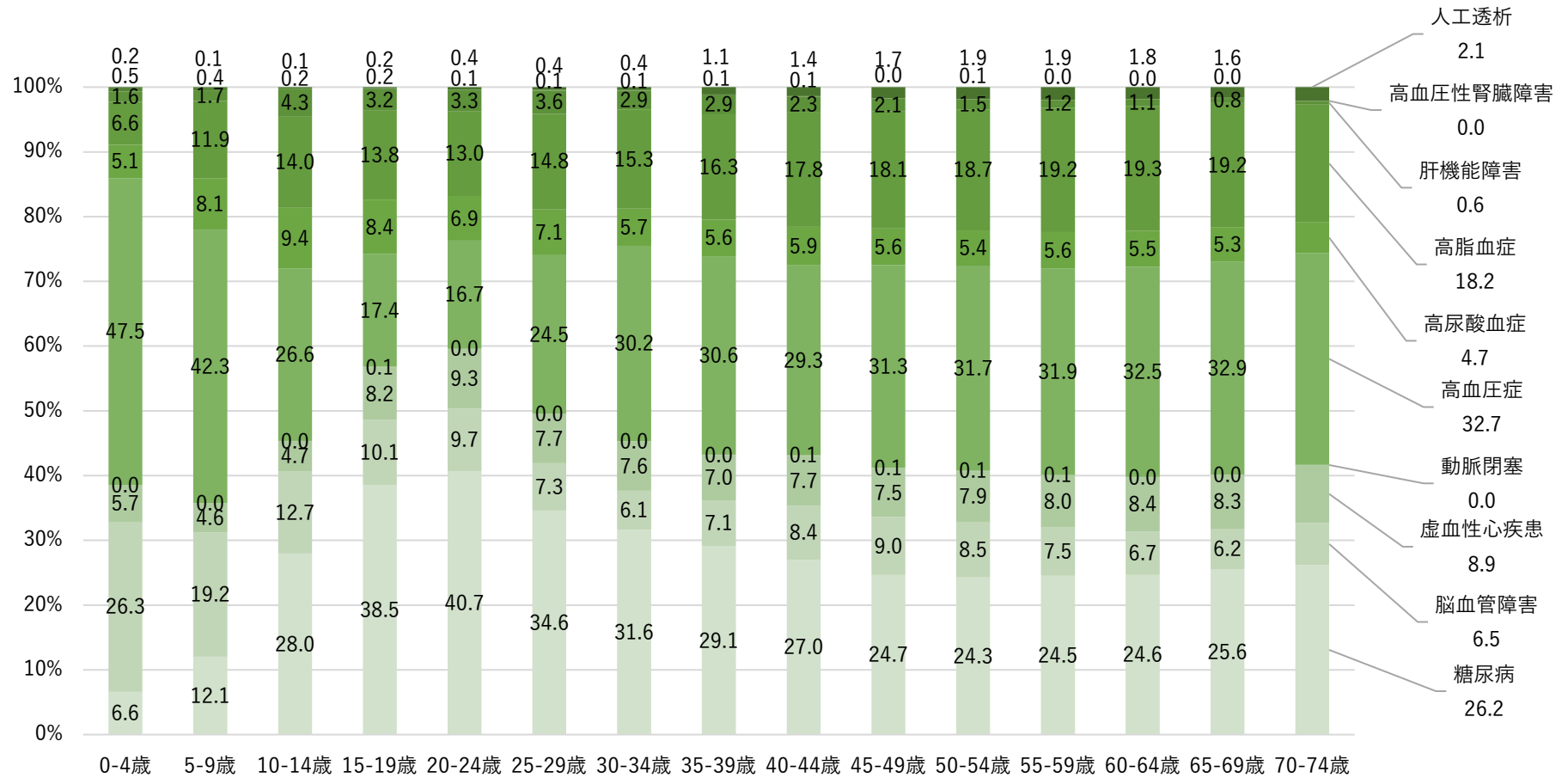
- 0-14 歳では、高血圧症（37.5%）、脳血管障害（19.0%）の割合が高く、15-29 歳では、糖尿病（37.4%）、高血圧症（20.3%）の割合が高い。
- 30 歳以降では、高血圧症（30.6~32.8%）、糖尿病（24.5~26.8%）の割合が高く、次いで、高脂血症（17.4~19.1%）が高い割合を占める。





(参考①)

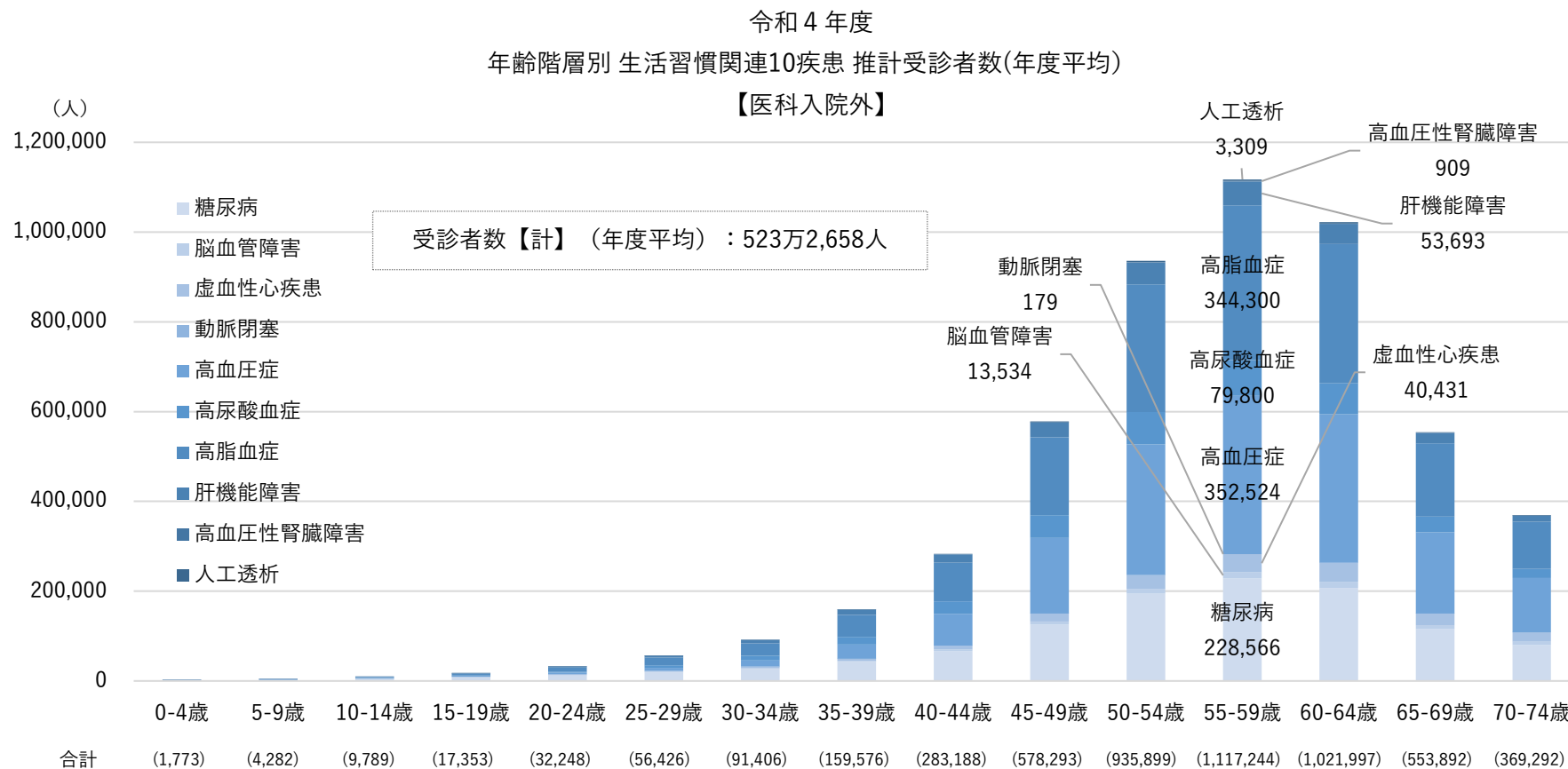
令和4年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患 推計受診者数構成割合 (%)  
【医科入院】



2) 医科入院外

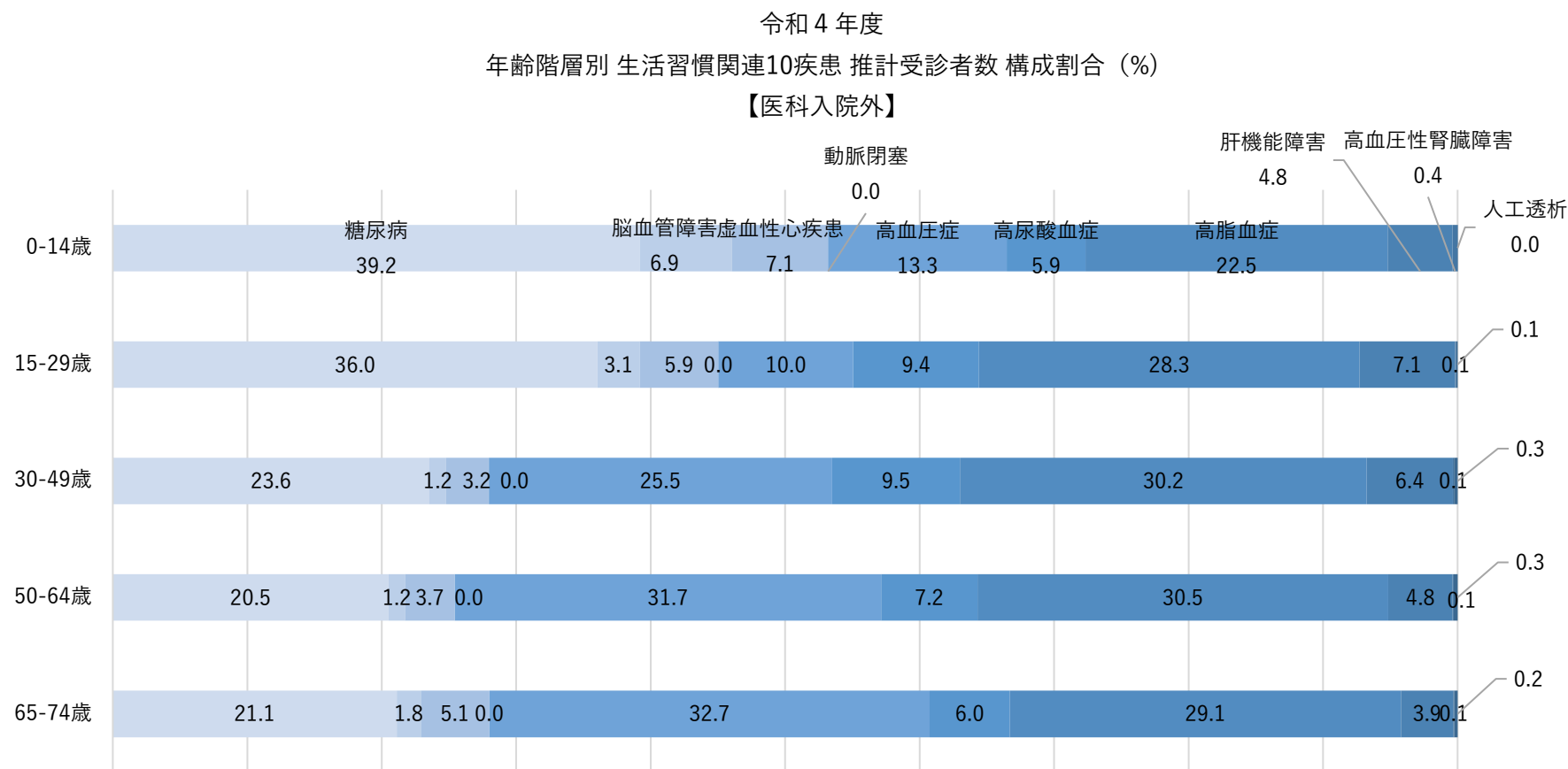
①推計受診者数（年度平均）

- 10 疾患の推計受診者総数（積み上げ）では 55-59 歳（111 万 7,244 人）が最も多く、次いで、60-64 歳（102 万 1,997 人）、50-54 歳（93 万 5,899 人）。最も多い 55-59 歳の疾患をみると、高血圧症（35 万 2,524 人）が最も多く、次いで、高脂血症（34 万 4,300 人）、糖尿病（22 万 8,566 人）。



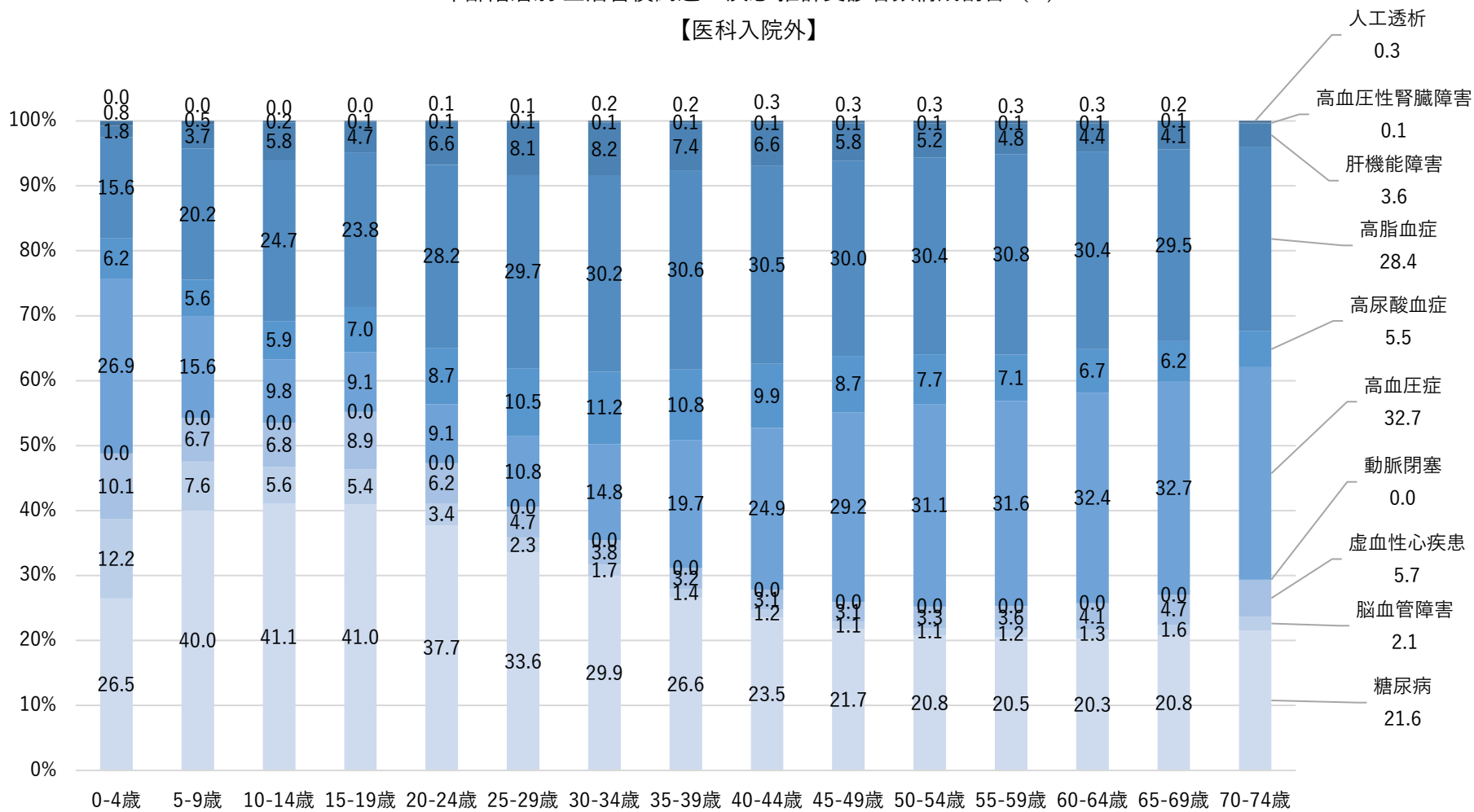
② 構成割合

- 0-14 歳では糖尿病（39.2%）、高脂血症（22.5%）の割合が高く、他の年齢階層に比べ、脳血管障害、虚血性心疾患の割合が高い。
- 15-29 歳では、糖尿病（36.0%）、高脂血症（28.3%）の割合が高く、他の年齢階層に比べ、肝機能障害の割合がやや高い。
- 50 歳以降では、高血圧症、高脂血症、糖尿病の3疾患で全体の80%以上を占める。



(参考②)

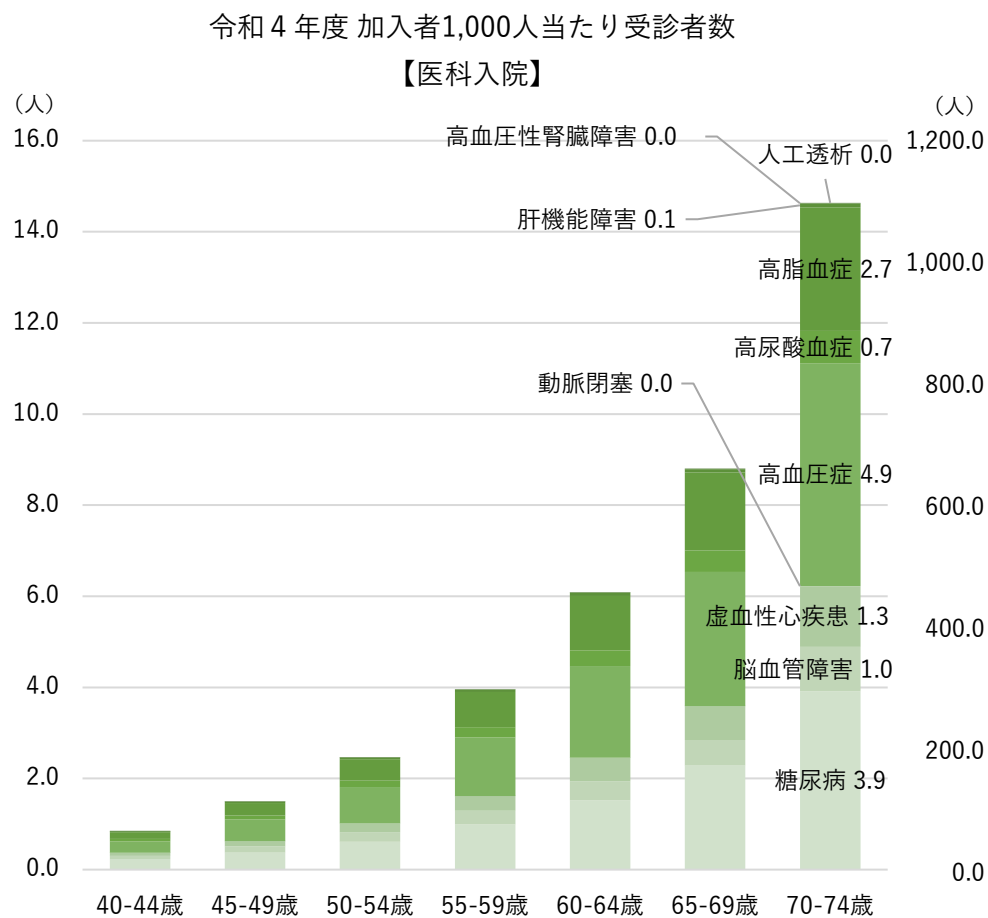
令和4年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患 推計受診者数構成割合 (%)  
【医科入院外】



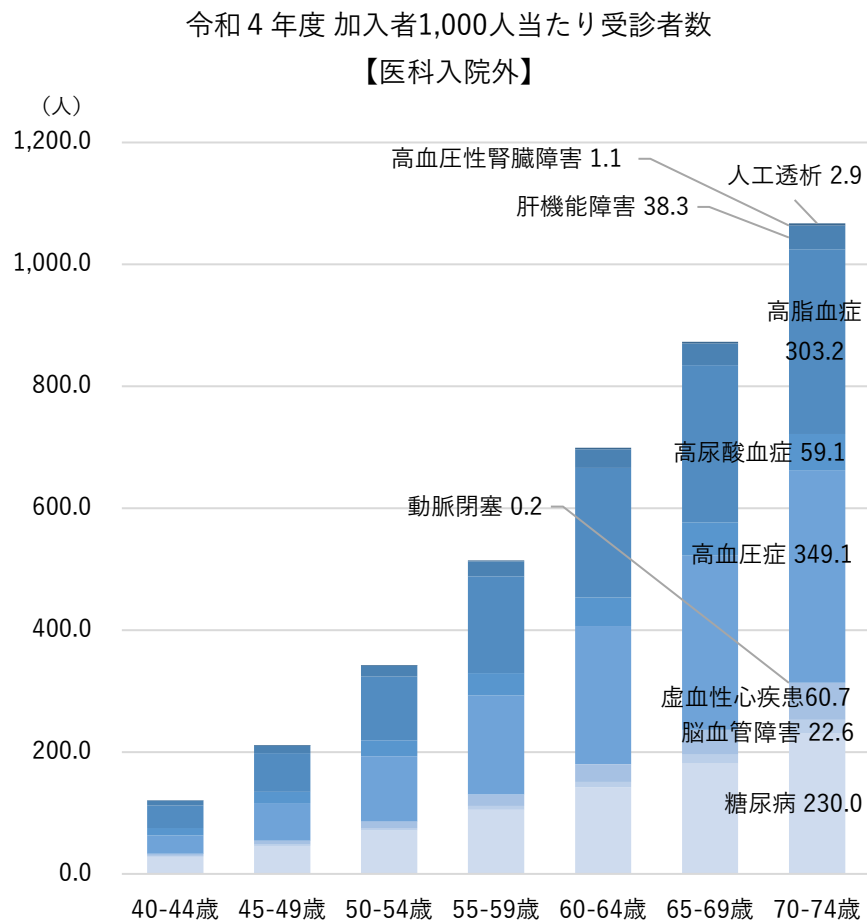
(参考③)

年齢階層（40-74歳）別にみた加入者1,000人当たり受診者数

1) 医科入院



2) 医科入院外



### 3. 生活習慣関連 10 疾患の医療費の動向

#### (1) 医療費の概況

##### 1) 医科入院

##### ①医療費及び構成割合

- 医科入院（8,904 億円）に占める 10 疾患医療費（514 億円）の割合は 5.8%。
- 脳血管障害が 2.3%（202 億円）と最も高く、次いで、虚血性心疾患：1.6%（146 億円）、糖尿病：0.7%（60 億円）。

#### 令和 4 年度 医療費及び構成割合

1,310 組合	医療費（円）	構成割合（%）
疾病分類【計】	890,380,144,990	(100)
10 疾患【計】	51,374,635,740	5.8
糖尿病	5,995,218,900	0.7
脳血管障害	20,243,866,680	2.3
虚血性心疾患	14,611,621,440	1.6
動脈閉塞	39,987,670	0.0
(再掲) 高血圧症	4,392,646,340	0.5
高尿酸血症	285,243,410	0.0
高脂血症	1,087,081,380	0.1
肝機能障害	113,685,390	0.0
高血圧性腎臓障害	22,231,870	0.0
人工透析	4,583,052,660	0.5

##### ②対前年度比伸び率

- 動脈閉塞が 39.9%、次いで、高血圧性腎臓障害が 33.4%とそれぞれ大きく増加。
- 肝機能障害が▲20.3%と大きく減少。次いで、高尿酸血症：▲10.9%、人工透析：▲7.5%。

#### 令和 4 年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の 1,290 組合ベース）

	伸び率（%）
糖尿病	▲5.1
脳血管障害	▲3.0
虚血性心疾患	1.8
動脈閉塞	39.9
高血圧症	0.2
高尿酸血症	▲10.9
高脂血症	▲2.4
肝機能障害	▲20.3
高血圧性腎臓障害	33.4
人工透析	▲7.5

③加入者1人当たり医療費及び3要素

【加入者1人当たり医療費】

- 脳血管障害が747円と最も高く、次いで、虚血性心疾患：539円、糖尿病：221円。
- 脳血管障害の加入者1人当たり医療費が高い要因を医療費3要素分解からみると他の疾患に比べ、▽1件当たり日数が17.6日、▽1日当たり医療費が26,464円—と高いことによる。

(受診率)

- 高血圧症が6.5件と最も多く、次いで、糖尿病：5.3件、高脂血症：3.8件。

(1件当たり日数)

- 動脈閉塞脳血管障害が18.2日と最も長く、次いで、脳血管障害：17.6日、人工透析：14.3日。

(1日当たり医療費)

- 人工透析が3万3,328円と最も高く、次いで、虚血性心疾患：3万3,412円、脳血管障害：2万6,464円。

令和4年度 加入者1人当たり医療費及び3要素

1,310 組合	加入者1人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
糖尿病	221	5.3	11.1	3,773
脳血管障害	747	1.6	17.6	26,464
虚血性心疾患	539	1.7	9.7	33,412
動脈閉塞	1	0.0	18.2	7,173
高血圧症	162	6.5	10.8	2,300
高尿酸血症	11	1.1	12.1	768
高脂血症	40	3.8	10.6	998
肝機能障害	4	0.3	11.3	1,284
高血圧性腎臓障害	1	0.0	11.8	6,431
人工透析	169	0.4	14.3	33,328

④加入者1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率

- 伸び率が最も高いのは、動脈閉塞の40.9%で、その要因として、受診率が▲5.2%、減少した一方、1日当たり医療費が39.8%と大きく増加したほか、1件当たり日数が6.1%増加したことによる。
- 一方、伸び率が最も低いのは、肝機能障害の▲19.7%で、その要因として、▽1日当たり医療費が▲11.6%、▽受診率が▲9.8%—減少したことによる。

令和4年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,290組合ベース）

	加入者1人当たり 医療費 <sup>2</sup>	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
糖尿病	▲4.4	▲0.9	0.1	▲3.6
脳血管障害	▲2.3	▲1.3	▲0.8	▲0.2
虚血性心疾患	2.5	▲3.4	▲0.3	6.4
動脈閉塞	40.9	▲5.2	6.1	39.8
高血圧症	1.0	2.0	▲0.7	▲0.2
高尿酸血症	▲10.2	▲1.3	▲1.6	▲7.5
高脂血症	▲1.6	2.9	▲0.8	▲3.6
肝機能障害	▲19.7	▲9.8	0.6	▲11.6
高血圧性腎臓障害	34.4	▲6.9	▲6.7	55.3
人工透析	▲6.8	▲4.7	▲2.5	0.2

<sup>2</sup> 加入者1人当たり医療費の伸び率

≡ 受診率の伸び率 + 1件当たり日数の伸び率 + 1日当たり医療費の伸び率

(以降、同じ)



2) 医科入院外

①医療費構成割合

- 医科入院外(3兆350億円)に占める10疾患医療費(4,082億円)の割合は13.5%。
- 糖尿病が4.8%(1,461億円)と最も高く、次いで、高血圧症：3.2%(961億円)、高脂血症：2.4%(716億円)となっている。

令和4年度 医療費及び構成比

1,310 組合	医療費 (円)	構成比 (%)
疾病分類【計】	3,035,020,784,740	(100)
10 疾患【計】	408,213,989,100	13.5
糖尿病	146,141,465,590	4.8
脳血管障害	7,257,329,790	0.2
虚血性心疾患	10,000,584,900	0.3
動脈閉塞	9,006,590	0.0
(再掲) 高血圧症	96,092,721,760	3.2
高尿酸血症	9,952,892,010	0.3
高脂血症	71,602,179,300	2.4
肝機能障害	2,393,244,450	0.1
高血圧性腎臓障害	51,090,280	0.0
人工透析	64,713,474,430	2.1

②対前年度比伸び率

- 糖尿病が5.2%と増加。次いで、高血圧性腎臓障害：2.7%、虚血性心疾患：1.3%。
- 一方、高尿酸血症が▲24.4%と大きく減少。次いで、高脂血症：▲2.0%、動脈閉塞：▲1.1%。

令和4年度 対前年度比伸び率 (※両年度同一の1,290組合ベース)

	伸び率 (%)
糖尿病	5.2
脳血管障害	▲0.8
虚血性心疾患	1.3
動脈閉塞	▲1.1
高血圧症	▲1.0
高尿酸血症	▲24.4
高脂血症	▲2.0
肝機能障害	0.6
高血圧性腎臓障害	2.7
人工透析	1.1

③加入者1人当たり医療費及び3要素

【加入者1人当たり医療費】

- 糖尿病が5,393円と最も高く、次いで、高血圧症：3,546円、高脂血症：2,643円。
- 糖尿病の加入者1人当たり医療費が高い要因を医療費3要素分解から見ると、他の疾患に比べ、▽受診率が517.5件、▽1日当たり医療費が8,205円—と高いことによる。

(受診率)

- 高脂血症が706.7件と最も多く、次いで、高血圧症：706.5件、糖尿病：517.5件。

(1件当たり日数)

- 人工透析が12.6日と最も長く、次いで、動脈閉塞：1.6日、虚血性心疾患：1.5日。

(1日当たり医療費)

- 人工透析が2万9,684円と最も高く、次いで、糖尿病：8,205円、脳血管障害：5,761円。

令和4年度 加入者1人当たり医療費及び3要素

1,310 組合	加入者1人当たり 医療費(円)	受診率 (件/千人)	1件当たり 日数(日)	1日当たり 医療費(円)
糖尿病	5,393	517.5	1.3	8,205
脳血管障害	268	32.6	1.4	5,761
虚血性心疾患	369	91.2	1.5	2,651
動脈閉塞	0	0.3	1.6	588
高血圧症	3,546	706.5	1.2	4,262
高尿酸血症	367	174.7	1.3	1,574
高脂血症	2,643	706.7	1.3	2,995
肝機能障害	88	116.6	1.2	622
高血圧性腎臓障害	2	2.0	1.2	765
人工透析	2,388	6.4	12.6	29,684

④加入者1人当たり医療費及び3要素の対前年度比伸び率

- 伸び率が最も高いのは、糖尿病の6.0%で、その要因として、▽受診率が5.0%、▽1日当たり医療費が1.5%—増加したことによる。
- 一方、伸び率が最も低いのは、高尿酸血症の▲23.8%で、その要因として、受診率が4.2%増加した一方、1日当たり医療費が▲26.5%と大きく減少したことによる。

令和4年度 対前年度比伸び率（※両年度同一の1,290組合ベース）

	加入者1人当たり 医療費	受診率	1件当たり 日数	1日当たり 医療費
糖尿病	6.0	5.0	▲0.8	1.5
脳血管障害	▲0.1	0.7	▲0.7	▲0.2
虚血性心疾患	2.1	1.5	0.0	1.1
動脈閉塞	▲0.4	6.2	▲0.6	▲6.0
高血圧症	▲0.2	3.4	0.0	▲3.3
高尿酸血症	▲23.8	4.2	0.0	▲26.5
高脂血症	▲1.3	4.1	0.0	▲4.7
肝機能障害	1.4	4.6	▲0.8	▲2.2
高血圧性腎臓障害	3.5	4.6	0.8	▲1.3
人工透析	1.9	3.3	▲0.1	▲1.3

(2) 10 疾患でみた医療費の構成割合

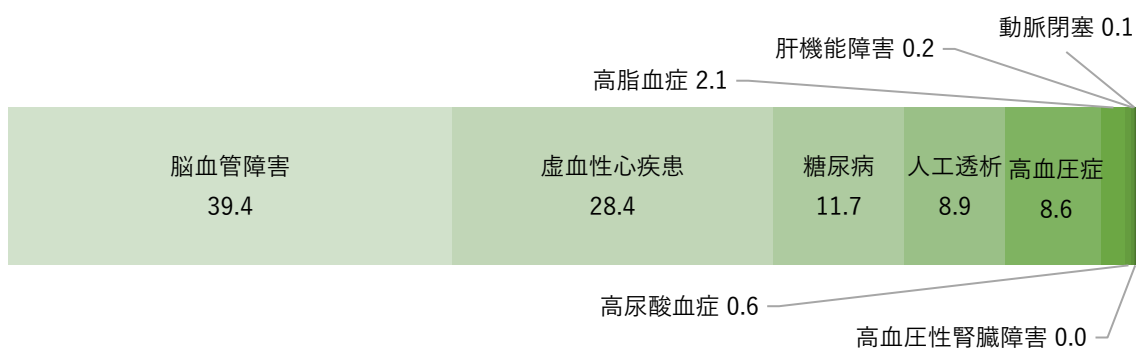
1) 医科入院

- 脳血管障害：39.4%が最も高く、次いで、虚血性心疾患：28.4%、糖尿病：11.7%—となっている。

生活習慣関連 10 疾患医療費の構成割合 (%)

【医科入院】

(10 疾患計：513 億 7,463 万 5,740 円)



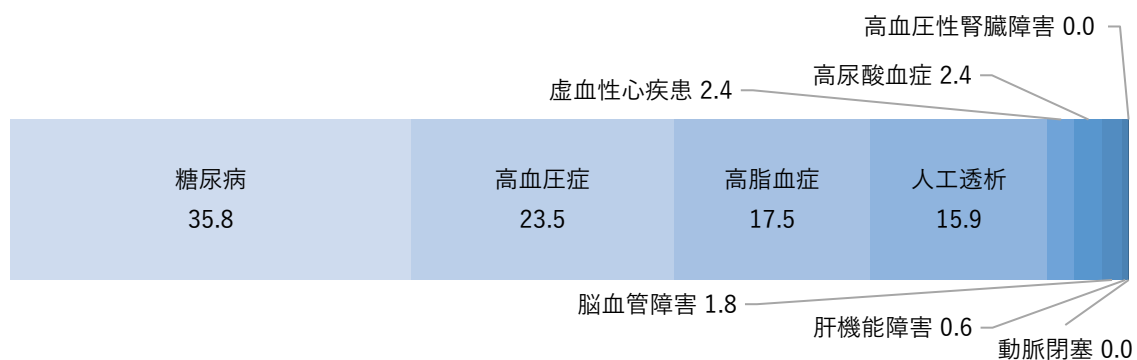
2) 医科入院外

- 糖尿病：35.8%が最も高く、次いで、高血圧症：23.5%、高脂血症：17.5%、人工透析：15.9%—となっている。

生活習慣関連 10 疾患医療費の構成割合 (%)

【医科入院外】

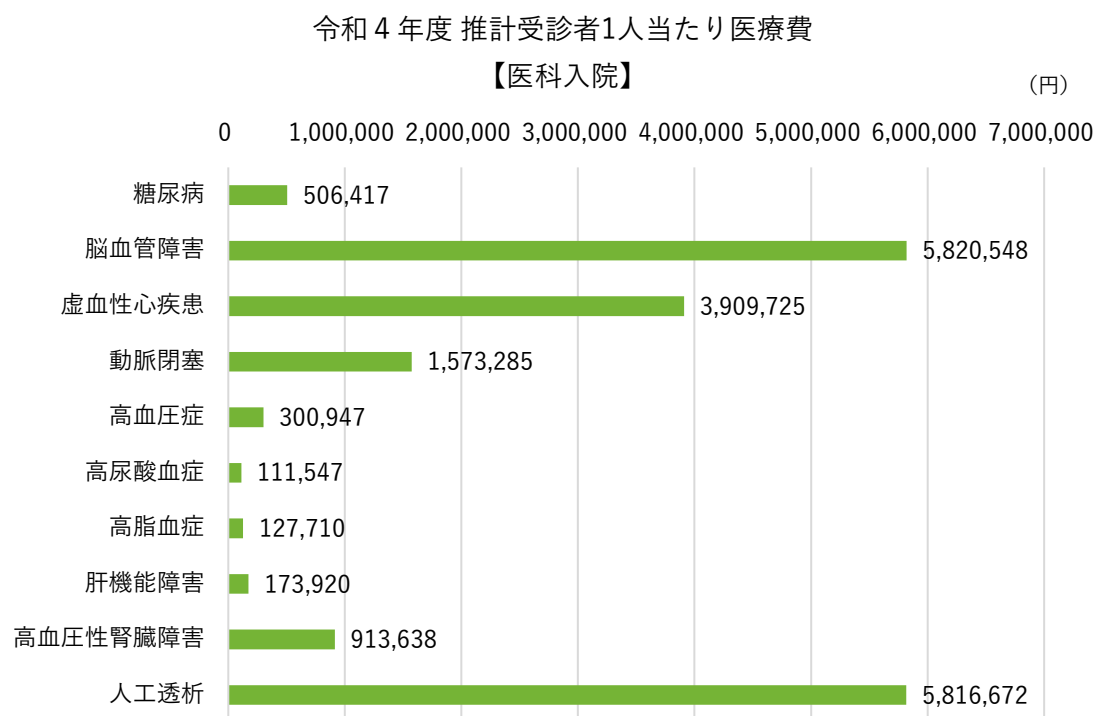
(10 疾患計：4,082 億 1,398 万 9,100 円)



(3) 推計受診者1人当たり医療費<sup>3</sup>

1) 医科入院

- 脳血管障害が582万548円と最も高く、次いで、人工透析：581万6,672円、虚血性心疾患：390万9,725円—となっている。



令和4年度 推計受診者1人当たり医療費

1,310 組合	加入者1人当たり 医療費(円)	加入者1,000人当たり 受診者数(人)	推計受診者 1人当たり医療費(円)
糖尿病	221	0.44	506,417
脳血管障害	747	0.13	5,820,548
虚血性心疾患	539	0.14	3,909,725
動脈閉塞	1	0.00	1,573,285
高血圧症	162	0.54	300,947
高尿酸血症	11	0.09	111,547
高脂血症	40	0.31	127,710
肝機能障害	4	0.02	173,920
高血圧性腎臓障害	1	0.00	913,638
人工透析	169	0.03	5,816,672

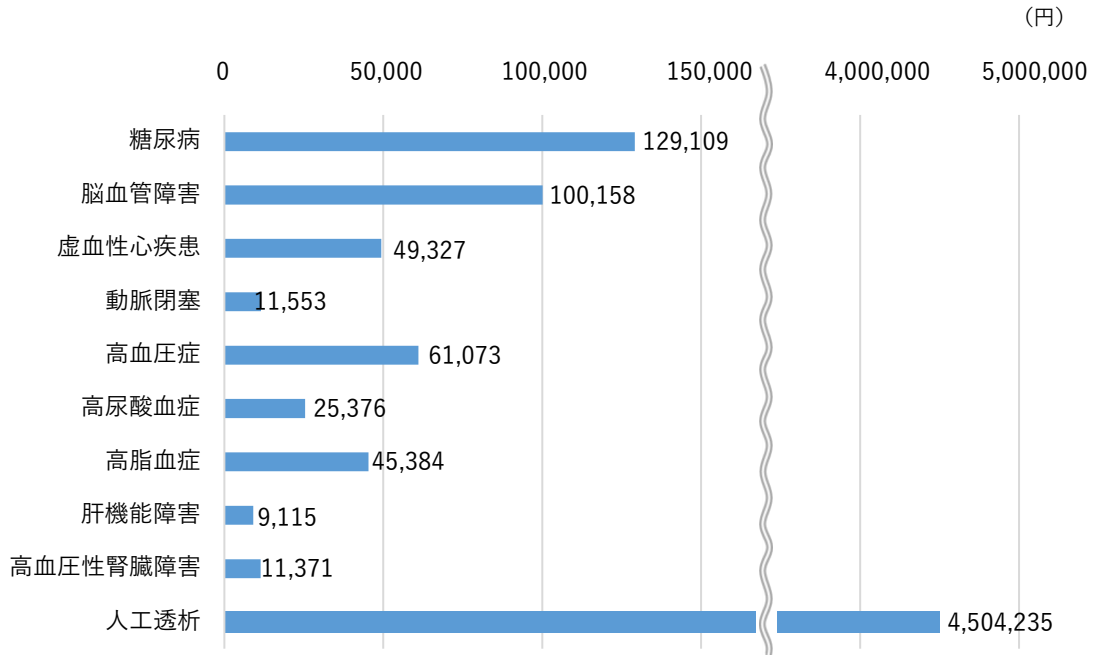
<sup>3</sup> 加入者1人当たり医療費=加入者1人当たり受診者数×受診者1人当たり医療費 (以降、同じ)

2) 医科入院外

- 人工透析が 450 万 4,235 円と最も高く、次いで、糖尿病：12 万 9,109 円、脳血管障害：10 万 158 円となっている。

令和 4 年度 推計受診者1人当たり医療費

【医科入院外】



令和 4 年度 推計受診者 1 人当たり医療費

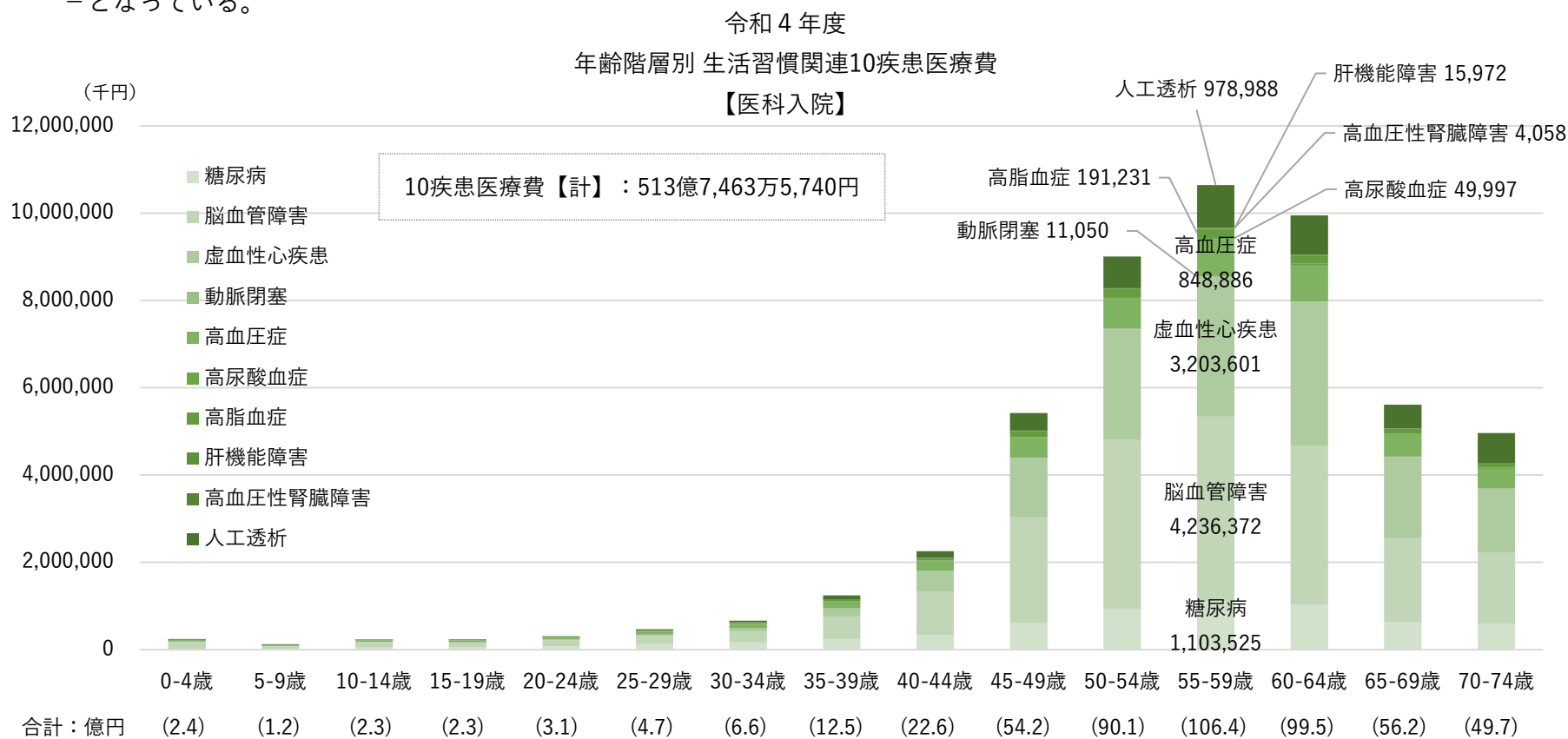
1,310 組合	推計受診者 1 人当たり医療費(円)	加入者 1,000 人当たり 受診者数(人)	加入者 1 人当たり 医療費(円)
糖尿病	5,393	41.8	129,109
脳血管障害	268	2.7	100,158
虚血性心疾患	369	7.5	49,327
動脈閉塞	0	0.0	11,553
高血圧症	3,546	58.1	61,073
高尿酸血症	367	14.5	25,376
高脂血症	2,643	58.2	45,384
肝機能障害	88	9.7	9,115
高血圧性腎臓障害	2	0.2	11,371
人工透析	2,388	0.5	4,504,235

(4) 年齢階層別にみた医療費及び構成割合

1) 医科入院

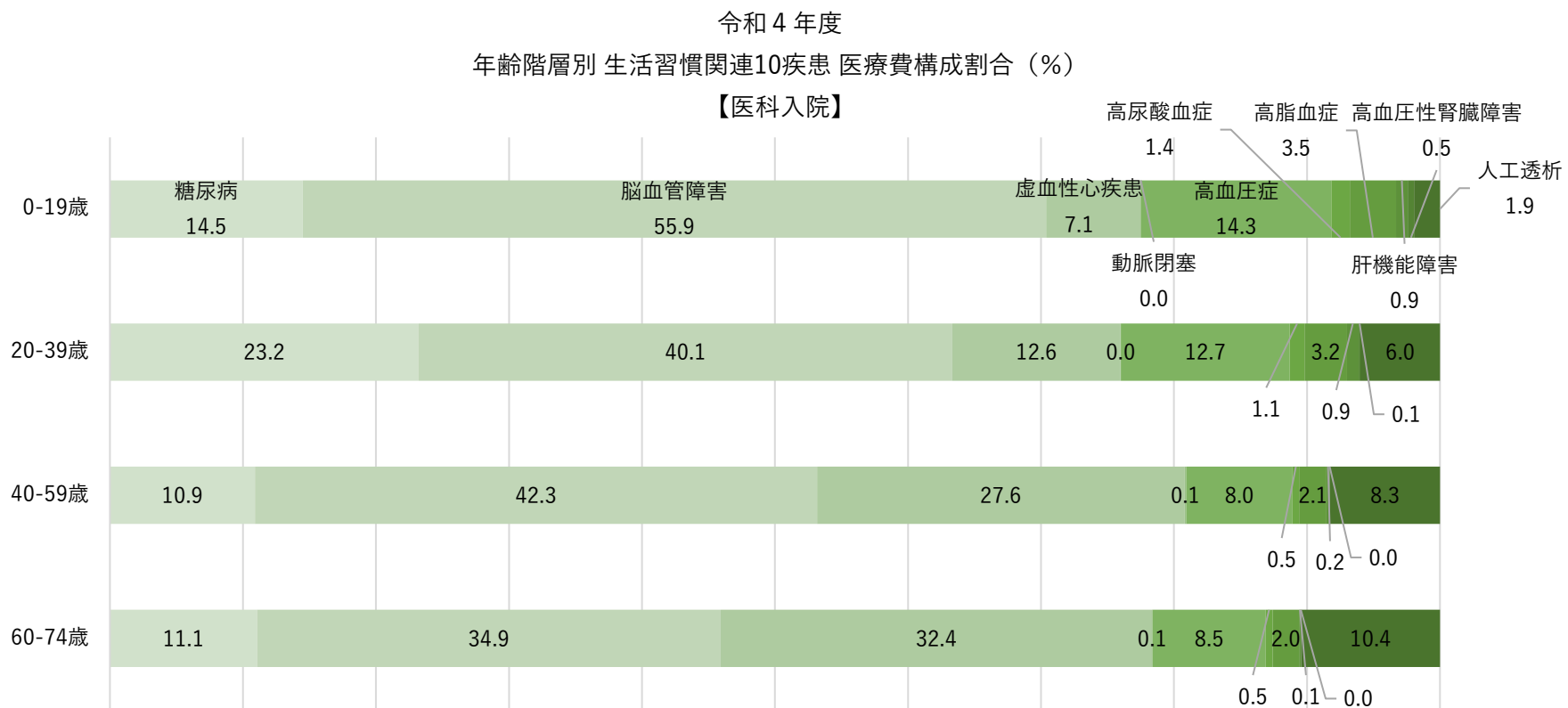
①医療費

- 10疾患の総額（積み上げ）では55-59歳（106.4億円）が最も高く、次いで、60-64歳（99.5億円）、50-54歳（90.1億円）。
- 最も高い55-59歳の疾患をみると、脳血管障害（42.4億円）が最も多く、次いで、虚血性心疾患（32.0億）、糖尿病（11.0億円）となっている。



②構成割合

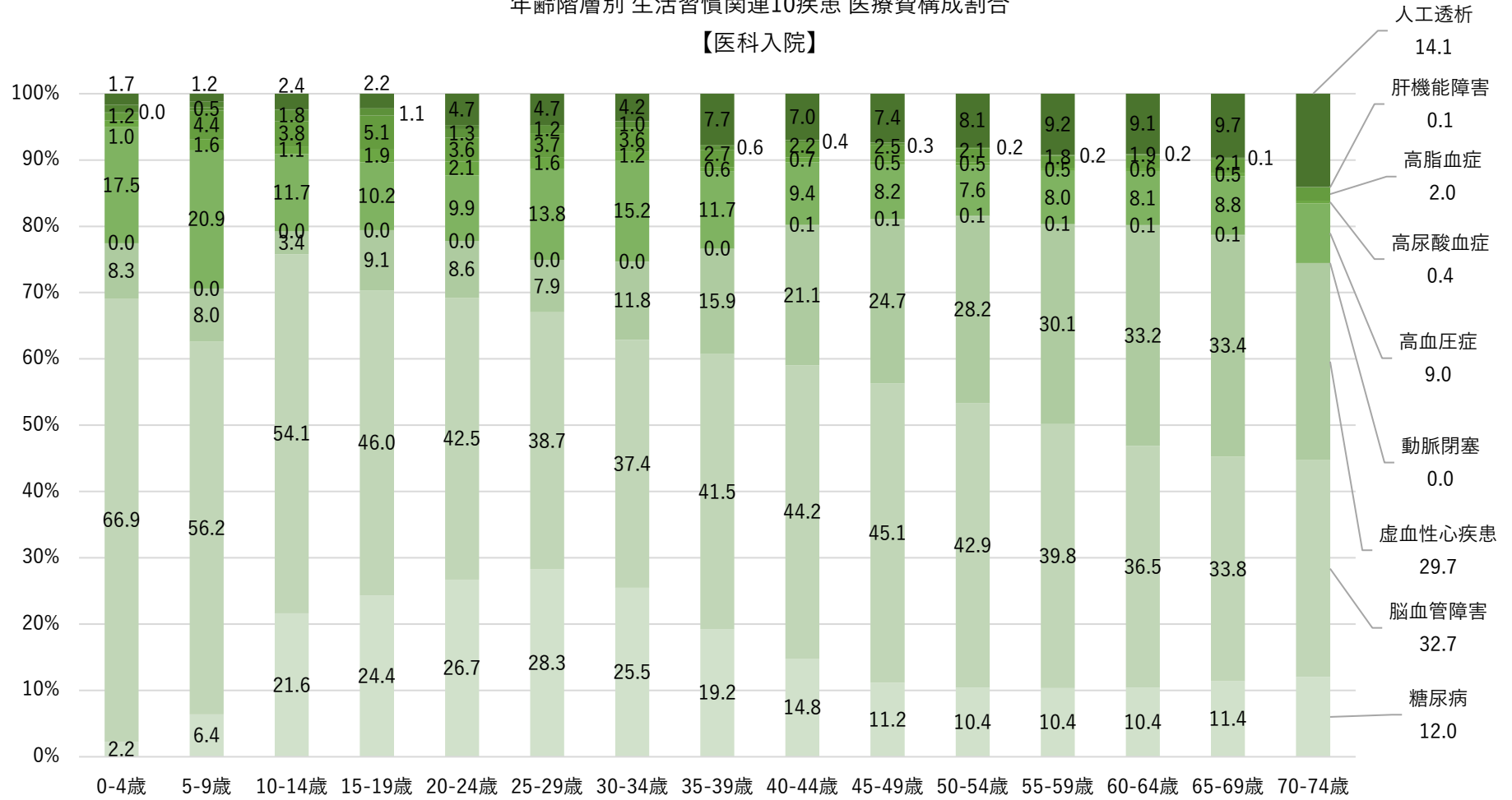
- いずれの年齢階層でも脳血管障害の割合が最も高く、0～19歳では、脳血管障害に次いで、高血圧症（14.3%）の割合が高く、20～39歳では、糖尿病（23.2%）の割合が高くなっている。
- 40～59歳では、脳血管障害に次いで、虚血性心疾患（27.6%）の割合が高くなり、60～74歳でも虚血性心疾患（32.4%）の割合が高い。





(参考③)

令和4年度  
 年齢階層別 生活習慣関連10疾患 医療費構成割合  
 【医科入院】

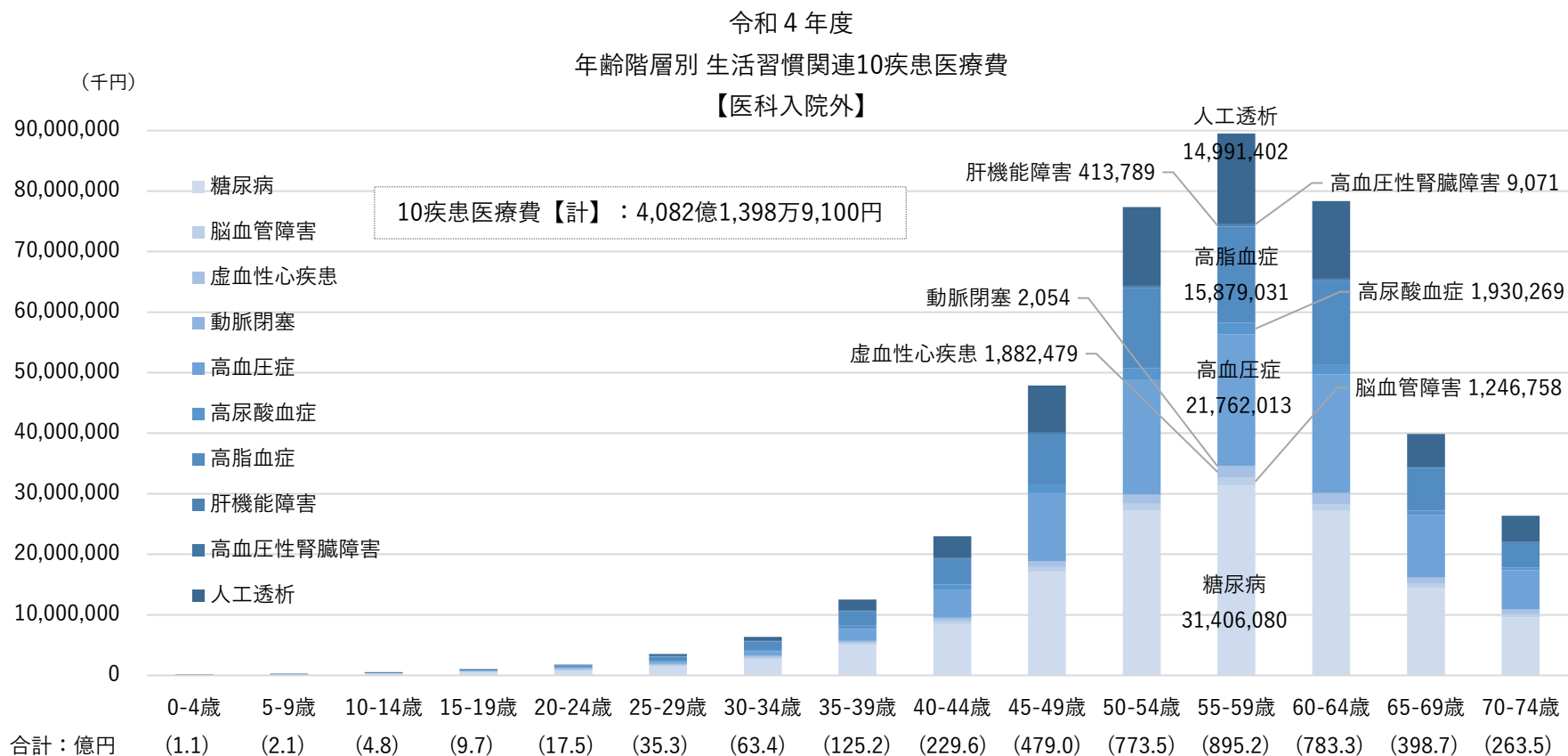


## 2) 医科入院外

### ①医療費

○10疾患の総額（積み上げ）では55-59歳（895.2億円）が最も高く、次いで、60-64歳（783.3億円）、50-54歳（773.5億円）。

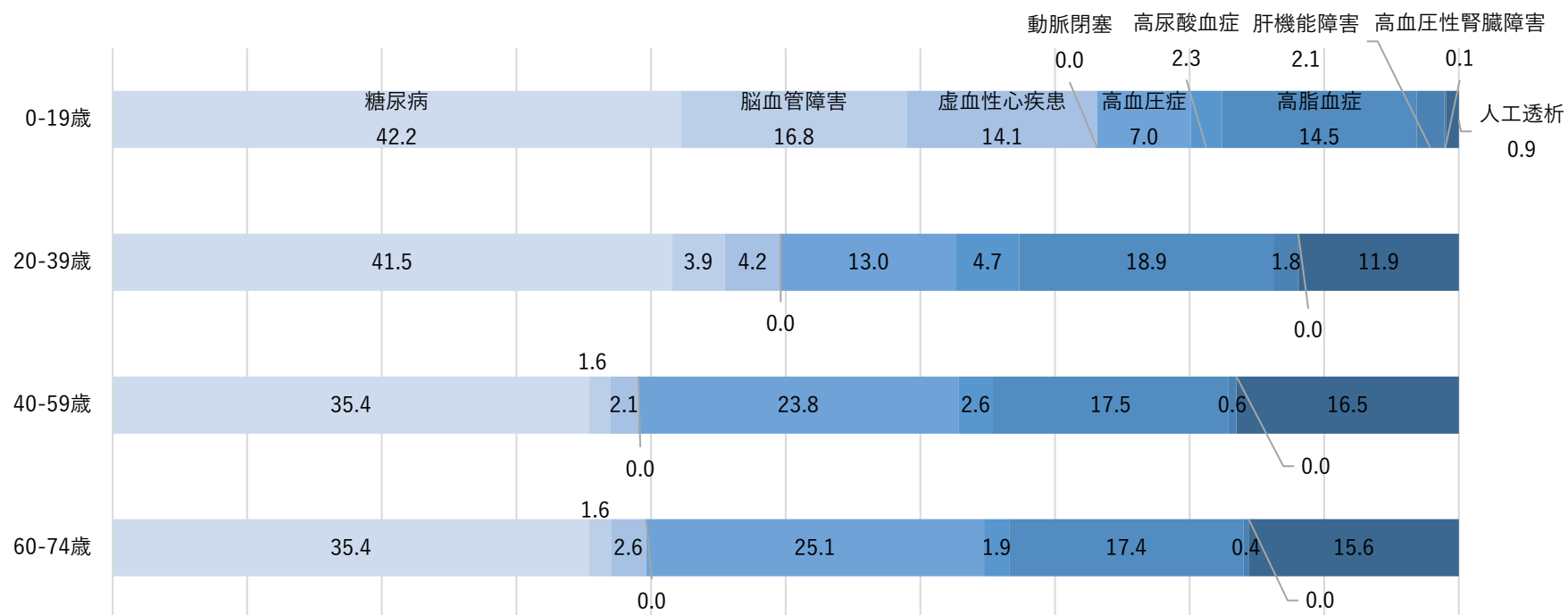
○総額が最も高い55-59歳の疾患をみると、糖尿病（314.1億円）が最も多く、次いで、高血圧症（217.6億）、高脂血症（158.8億円）。



②構成割合

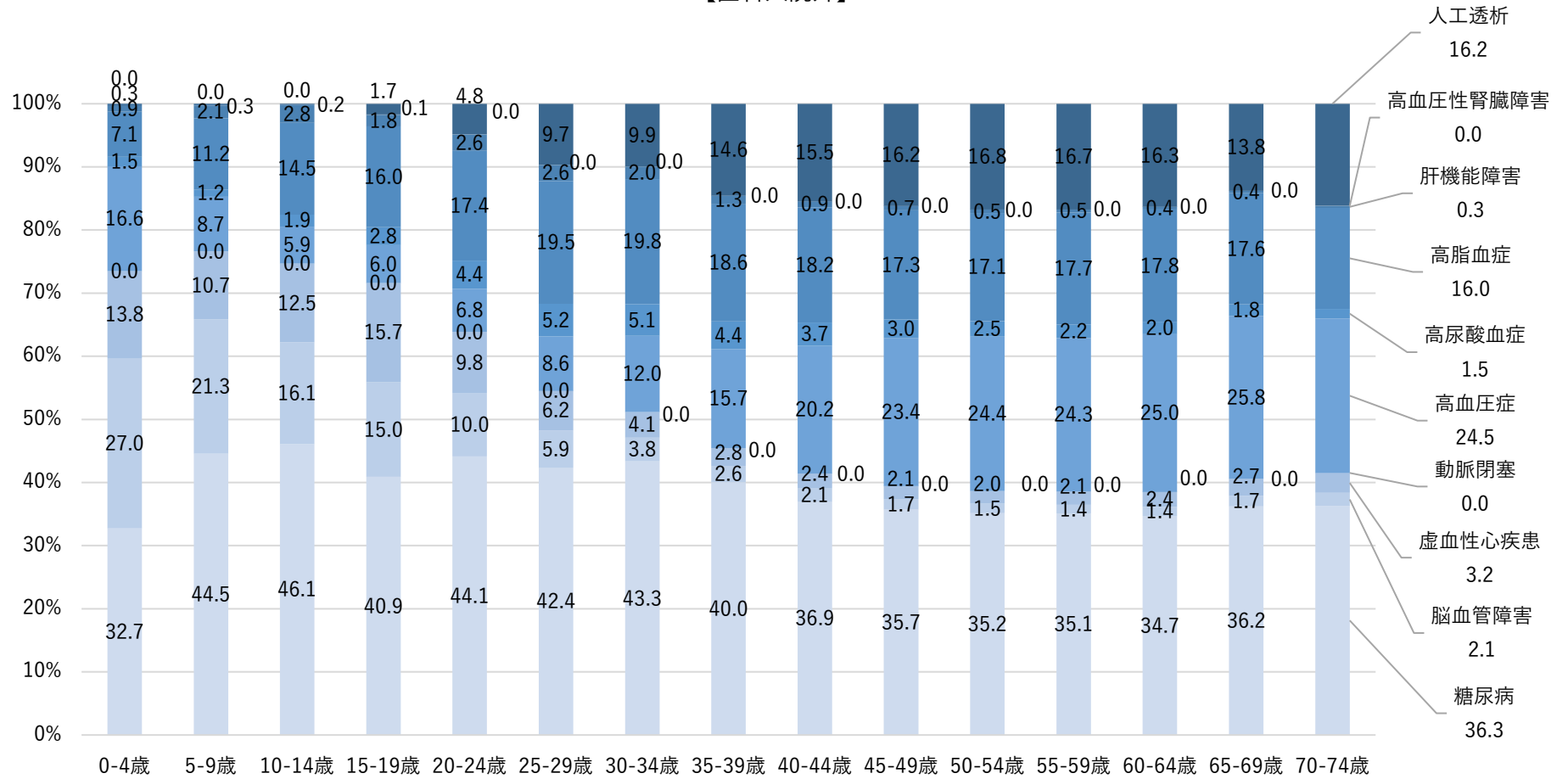
- いずれの年齢階層でも糖尿病の割合が最も高く、0～19歳では、糖尿病に次いで、脳血管障害（16.8%）の割合が高く、20-39歳では高脂血症（18.9%）の割合が高くなる。
- 40～59歳では、糖尿病に次いで、高血圧症（23.8%）の割合が高なり、60～74歳でも高血圧症（25.1%）の割合が高い。

令和4年度  
年齢階層別 生活習慣関連10疾患 医療費構成割合（%）  
【医科入院外】



(参考④)

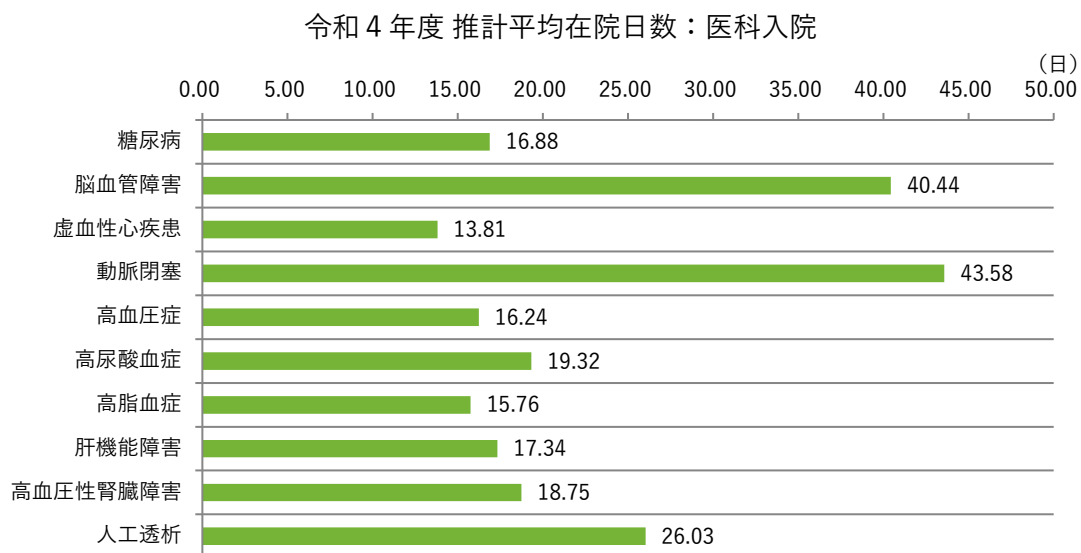
令和4年度  
 年齢階層別 生活習慣関連10疾患 医療費構成割合  
 【医科入院外】



(5) 推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費、推計新規入院件数

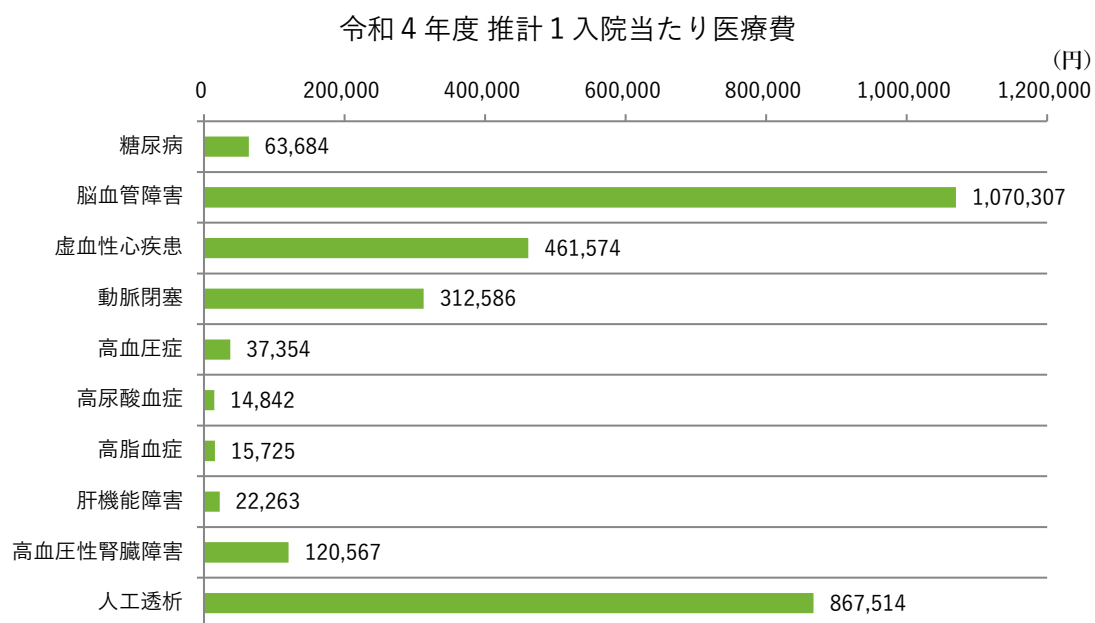
1) 推計平均在院日数

- 動脈閉塞が43.58日と最も長く、次いで、脳血管障害：40.44日、人工透析：26.03日となっている。



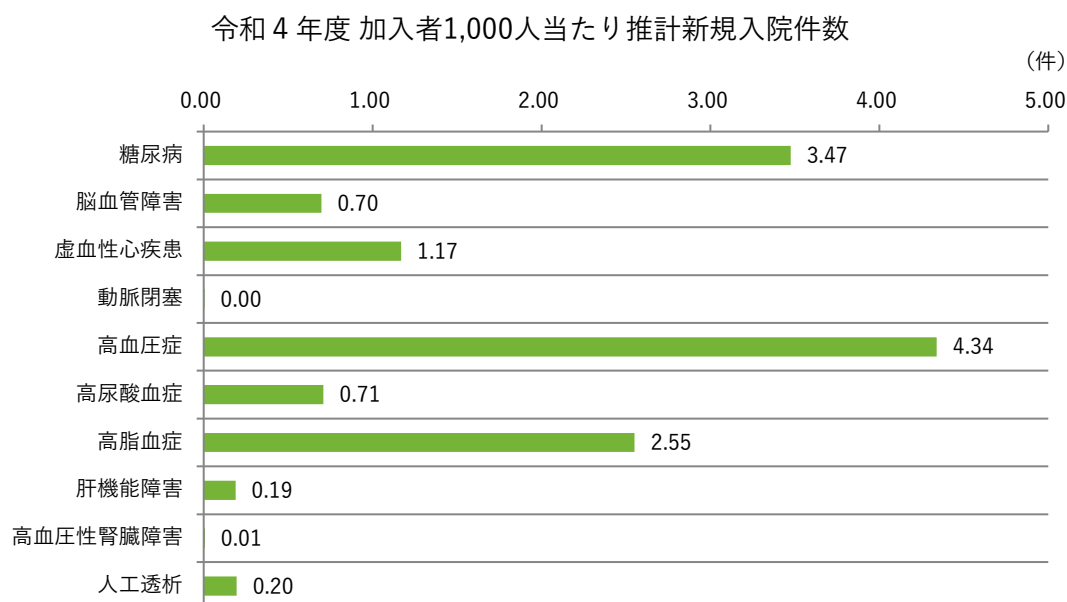
2) 推計1入院当たり医療費

- 脳血管障害が107万307円と最も高く、次いで、人工透析：86万7,514円、虚血性心疾患：46万1,574円となっている。



3) 加入者 1,000 人当たり推計新規入院件数

- 高血圧症：4.34 件が最も高く、次いで、糖尿病：3.47 件、高脂血症：2.55 件となっている。



【参考】 推計平均在院日数及び推計 1 入院当たり医療費、推計新規入院件数

	推計平均在院日数 (日) <sup>4</sup>	推計 1 入院当たり 医療費 (円) <sup>5</sup>	加入者 1,000 人当たり 推計新規入院件数 (件) <sup>6</sup>
糖尿病	16.85	63,594	3.48
脳血管障害	40.30	1,066,557	0.70
虚血性心疾患	13.80	461,047	1.17
動脈閉塞	43.41	311,404	0.00
高血圧症	16.22	37,304	4.35
高尿酸血症	19.29	14,817	0.71
高脂血症	15.74	15,705	2.55
肝機能障害	17.31	22,230	0.19
高血圧性腎臓障害	18.72	120,376	0.01
人工透析	25.97	865,583	0.20

<sup>4</sup> 退院日を含む平均在院日数の推計値である。

<sup>5</sup> 入院患者 1 人に掛かる入院してから退院までの医療費の推計値である。

<sup>6</sup> 当該年度の 4 月～3 月までの各月に入院した患者数の合計（推計）を 1,000 倍したものである。

なお、「入院医療費の 3 要素分解」については次頁 (p41) を参照のこと。

【参考】入院医療費の3要素分解について

入院医療費は、①【推計新規入院件数】（入院発生）、②【推計平均在院日数】（入院期間）、③【入院の1日当たり医療費】（入院単価）の3要素の積に分解でき、さらに、「推計新規入院件数」と「推計1入院当たり医療費」（\*推計平均在院日数に入院の1日当たり医療費を乗じて得た1入院当たり医療費）の積に分解できます。

---

推計平均在院日数

---

$$\text{推計平均在院日数} = 1 \text{ 件当たり日数} \times \frac{\text{月の日数} * - 1 \text{ 日}}{\text{月の日数} - 1 \text{ 件当たり日数}}$$

---

推計1入院当たり医療費

---

$$\text{推計1入院当たり医療費} = \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費}$$

---

推計新規入院件数

---

$$\text{推計新規入院件数} = \text{受診率 (件)} \times \frac{\text{月の日数} - 1 \text{ 件当たり日数}}{\text{月の日数} - 1 \text{ 日}}$$

---

入院医療費

---

$$\begin{aligned} \text{入院医療費} &= \text{入院受診延日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計平均在院日数} \times \text{入院の1日当たり医療費} \\ &= \text{推計新規入院件数} \times \text{推計1入院当たり医療費} \end{aligned}$$

---

資料：厚生労働省「推計新規入院件数、推計平均在院日数及び推計1入院当たり医療費～入院医療費の3要素分解～」(<https://www.mhlw.go.jp/bunya/iryouhoken/iryouhoken03/06.html>) 及び「推計平均在院日数の数理分析(II)」・「算定式と関係式一覧」(p.3)をもとに作成

---

\* 計算式における「月の日数」について

---

【単月】の場合

1ヵ月の暦日数。

例) 1月は31日。2月は28日または29日(閏年)

---

【複数月】の場合

複数月の日数の合計を月数で割ったもの。

例) 12ヵ月の場合：365(閏年366)日 ÷ 12 = 30.42 (≒ 30.5)

---